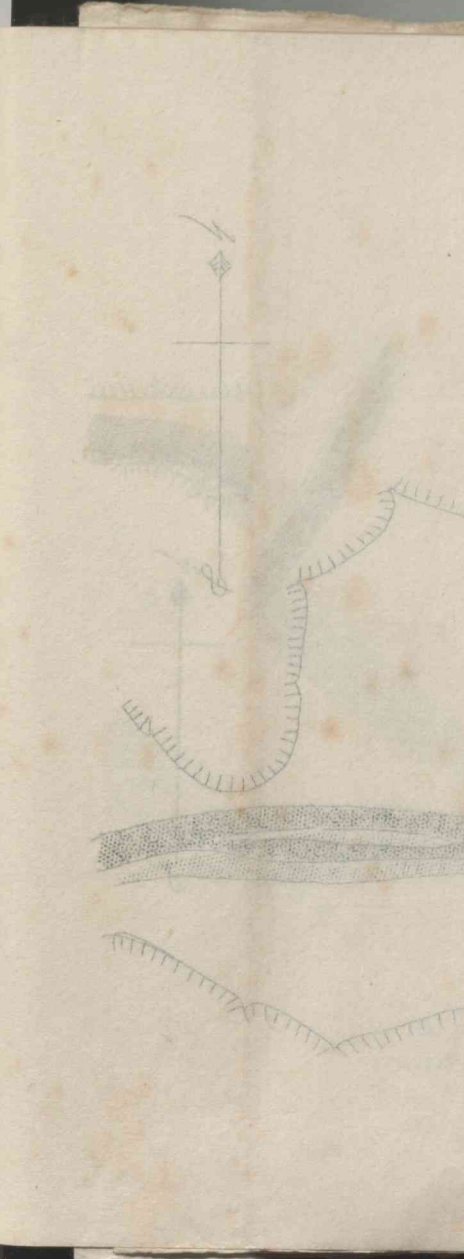
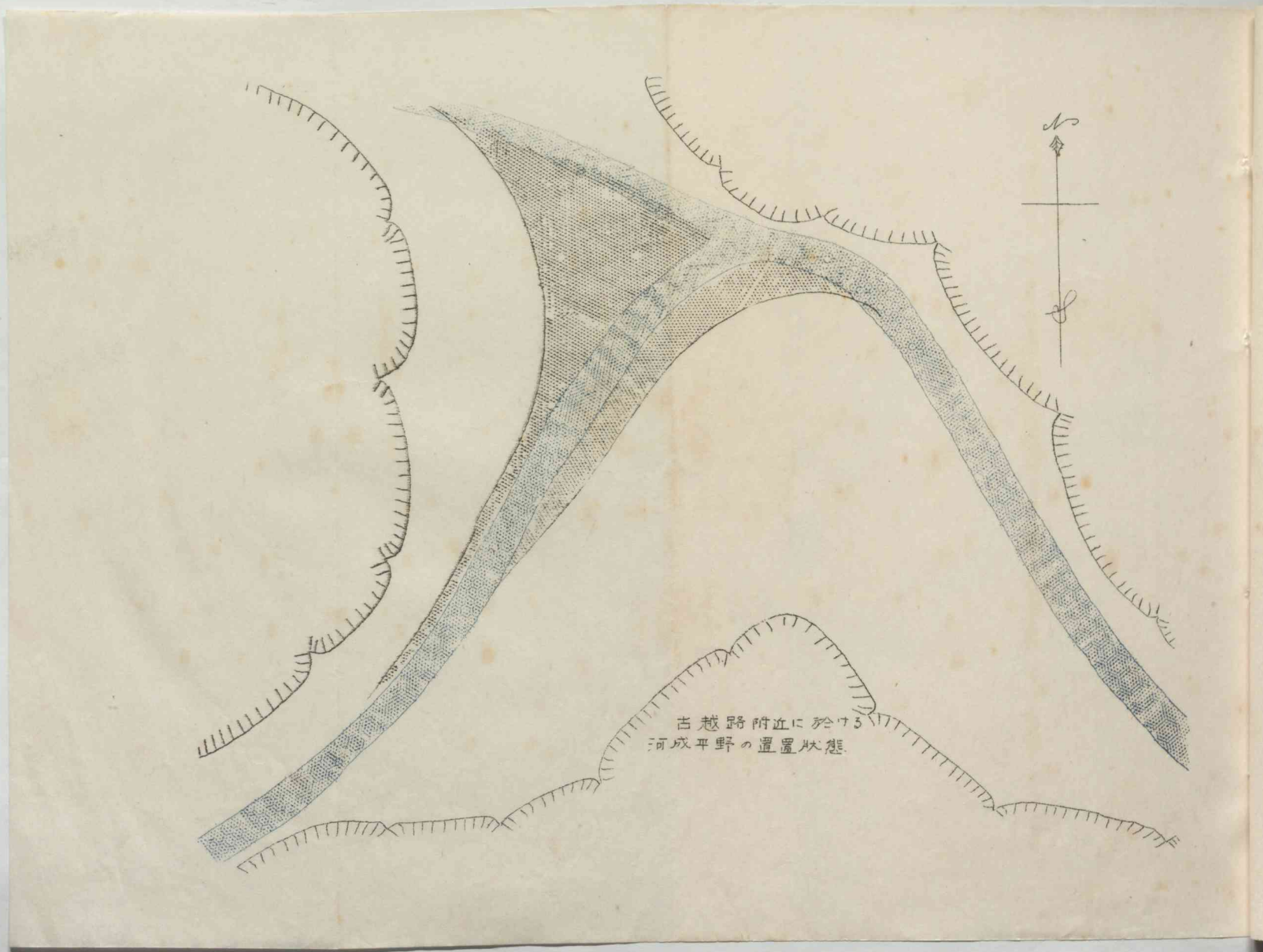
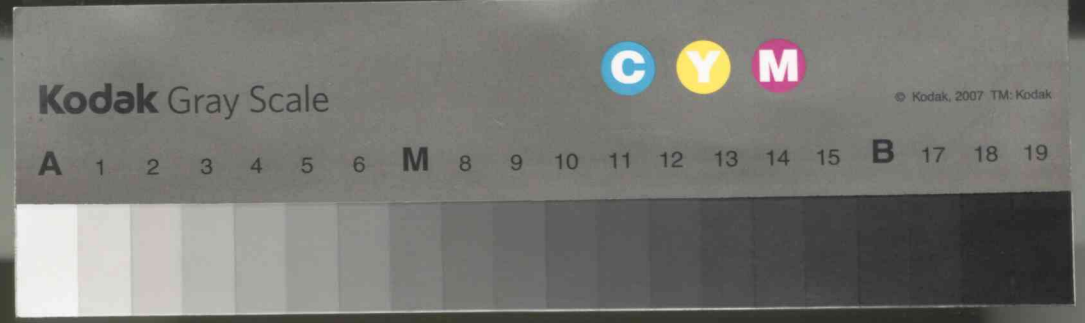
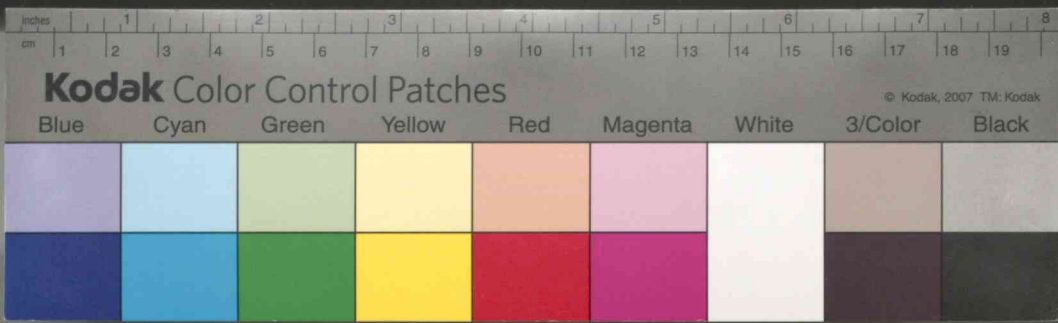


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13

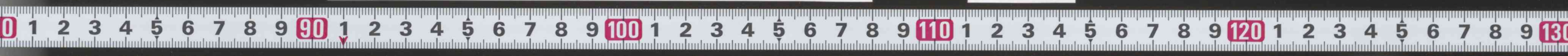




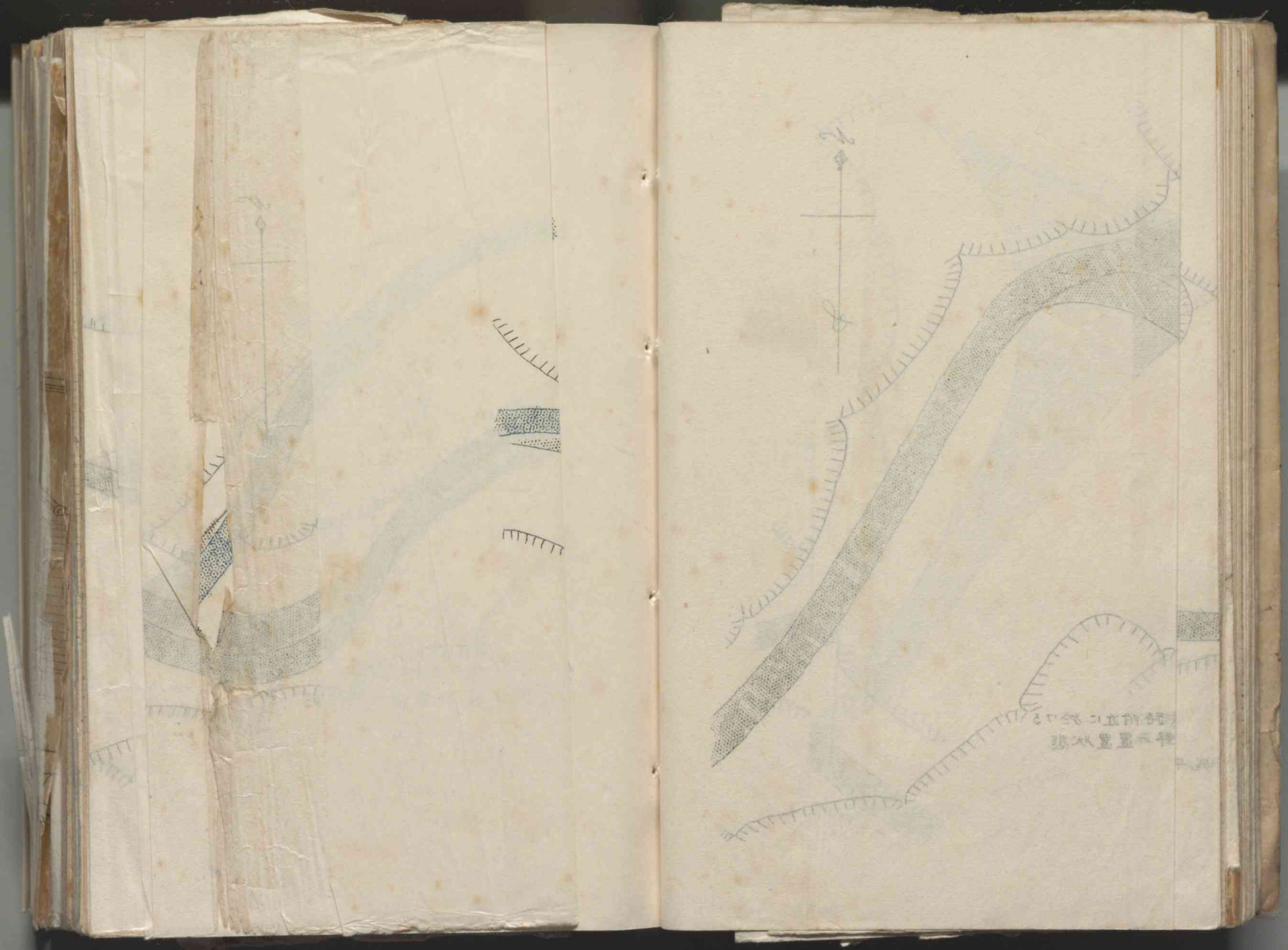
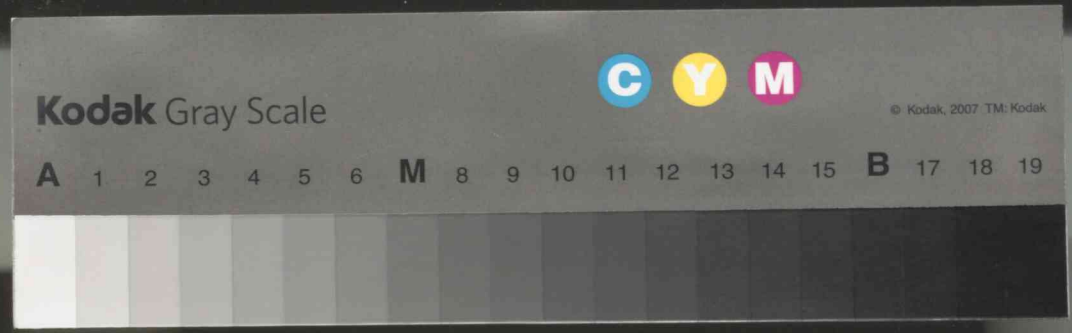
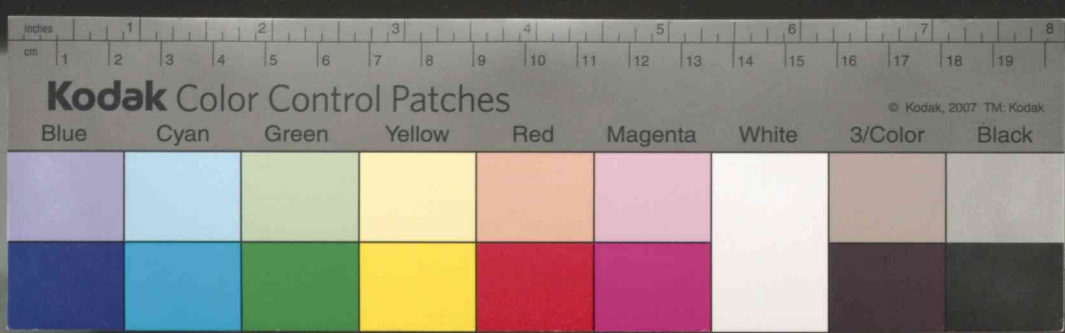


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





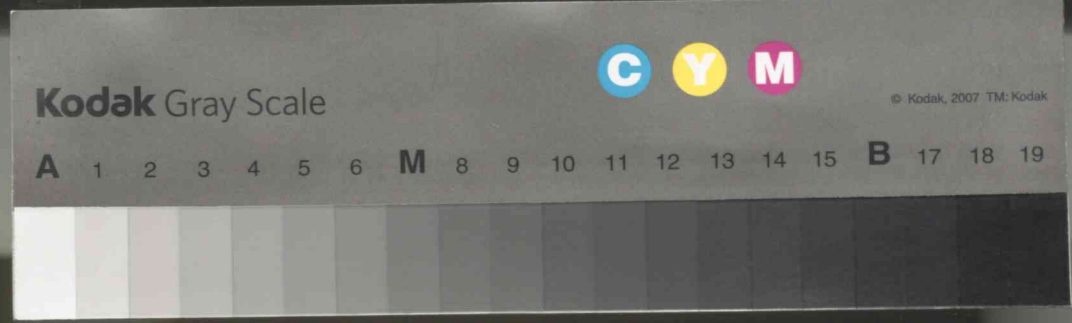


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





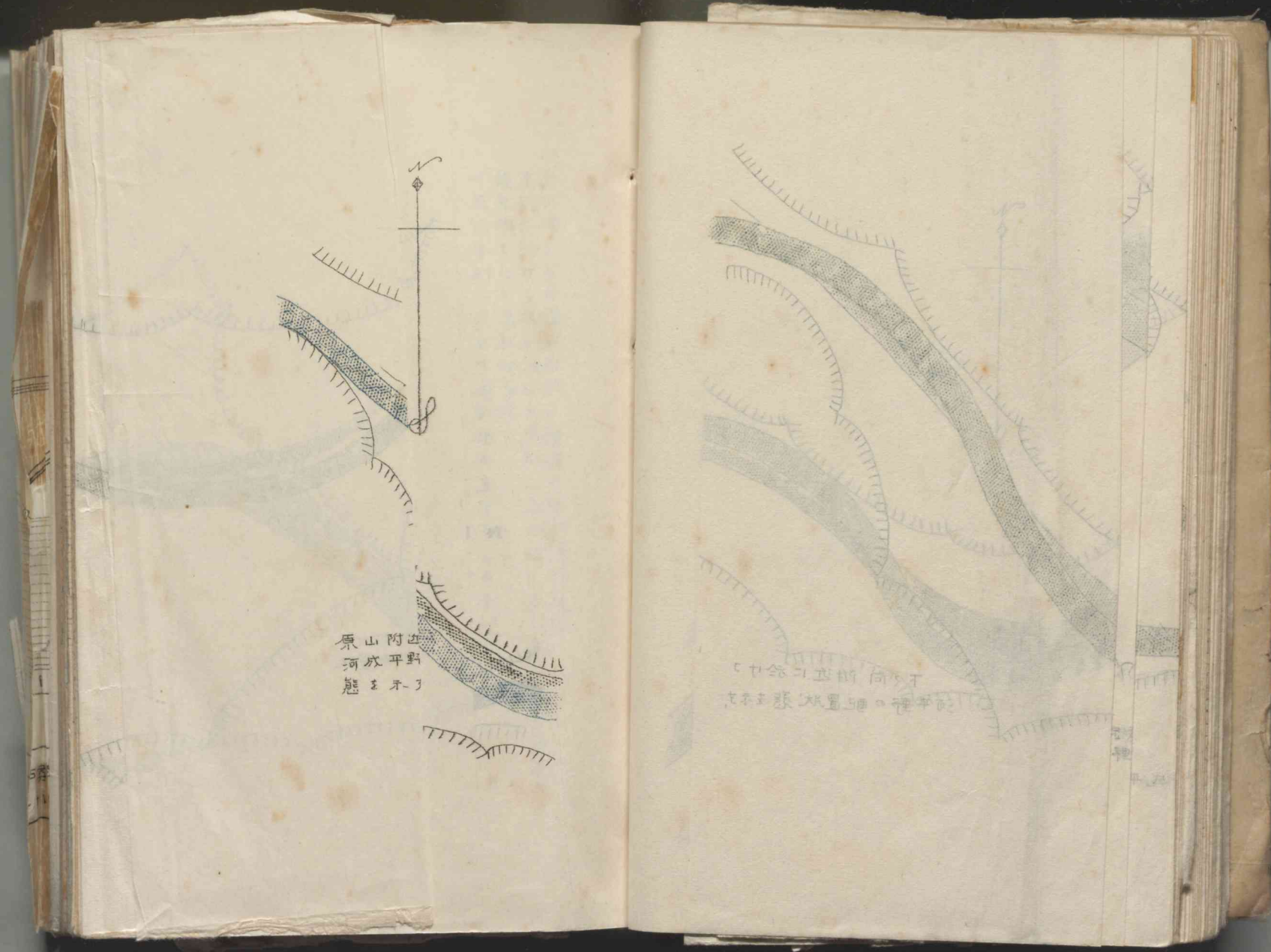
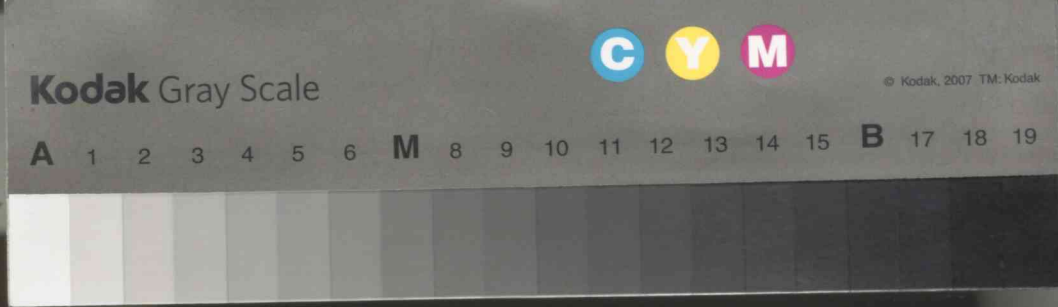


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

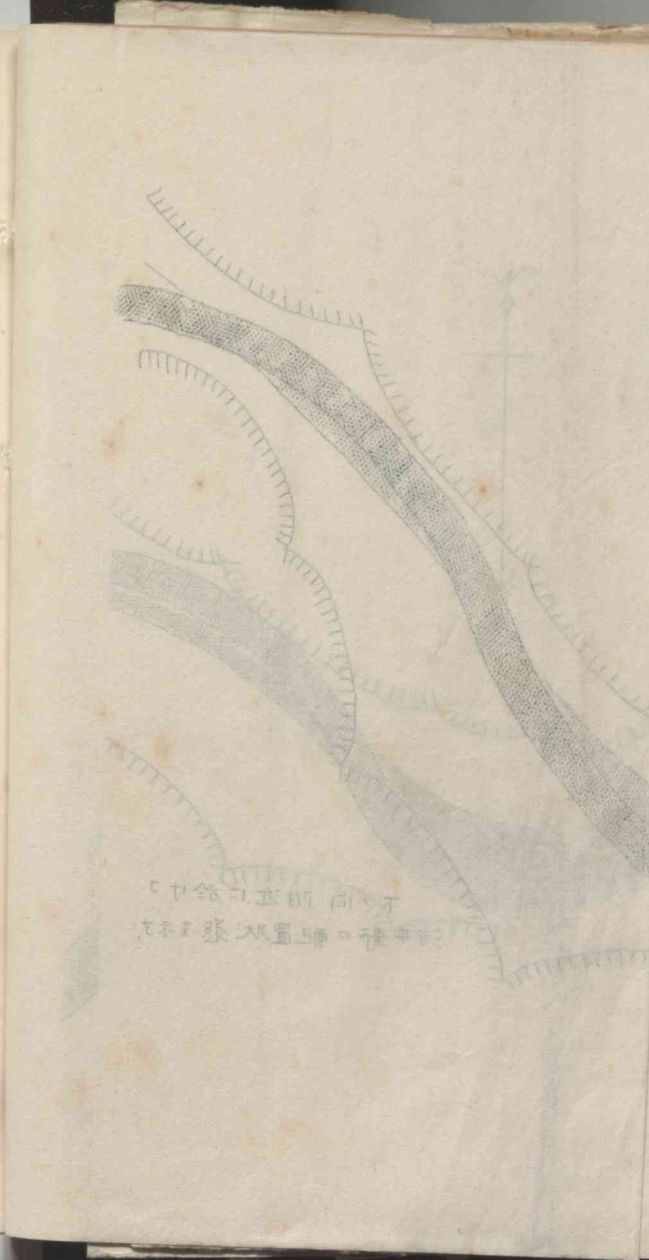
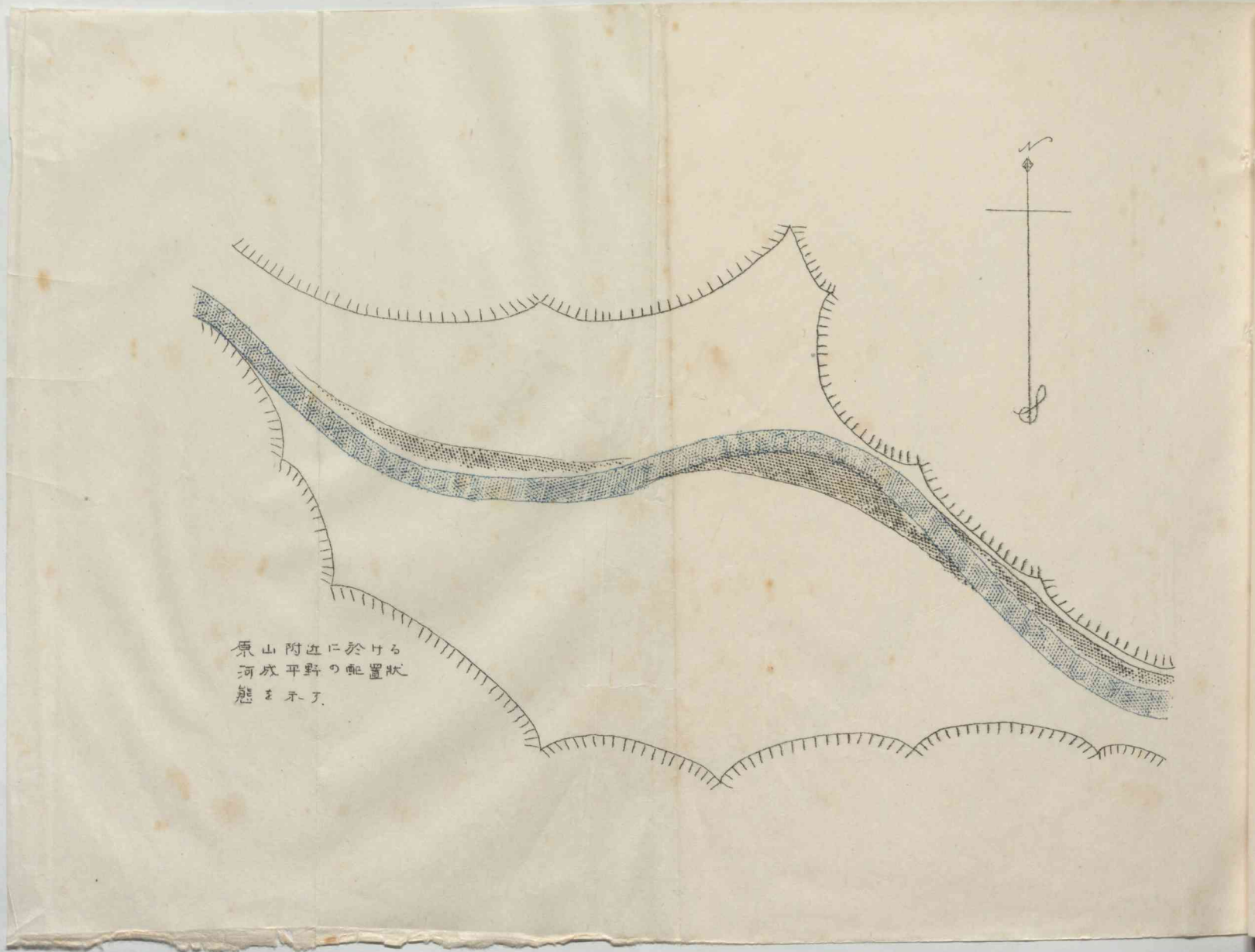
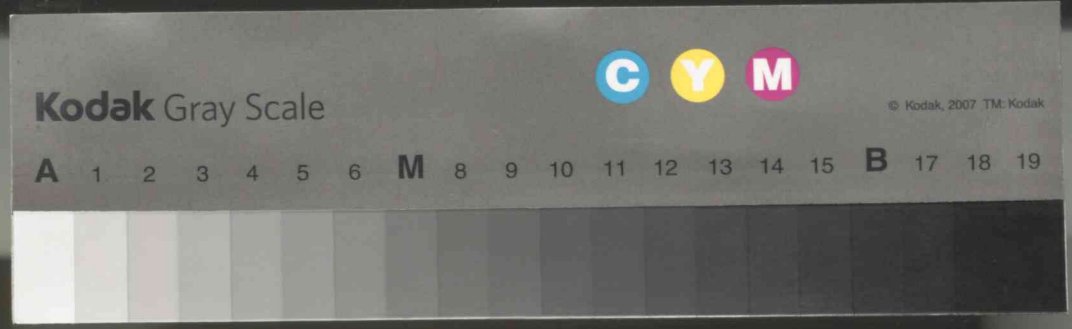
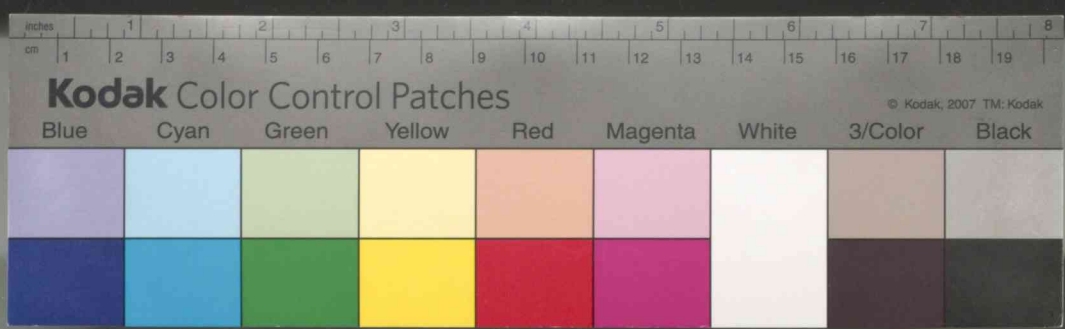
13



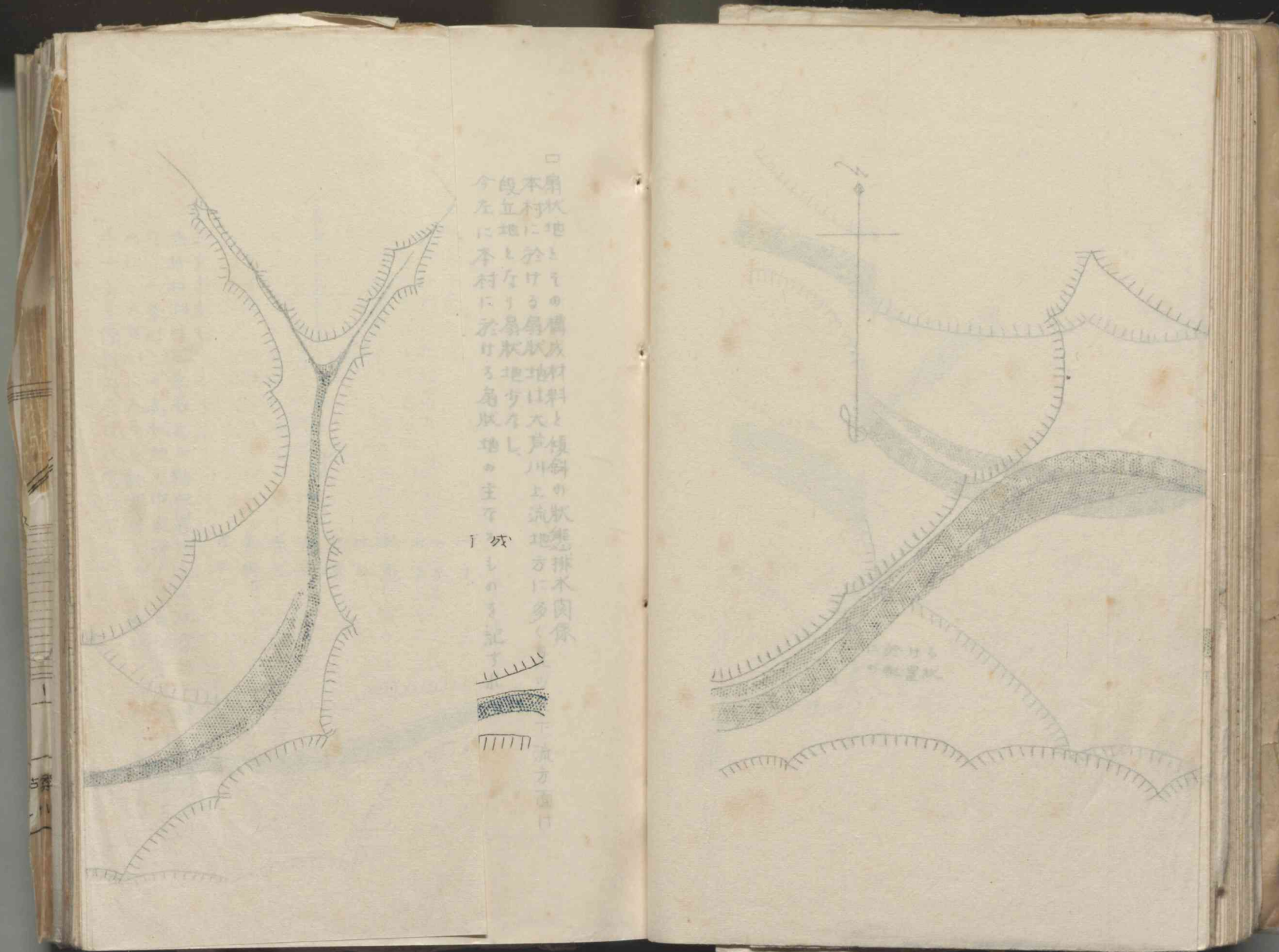
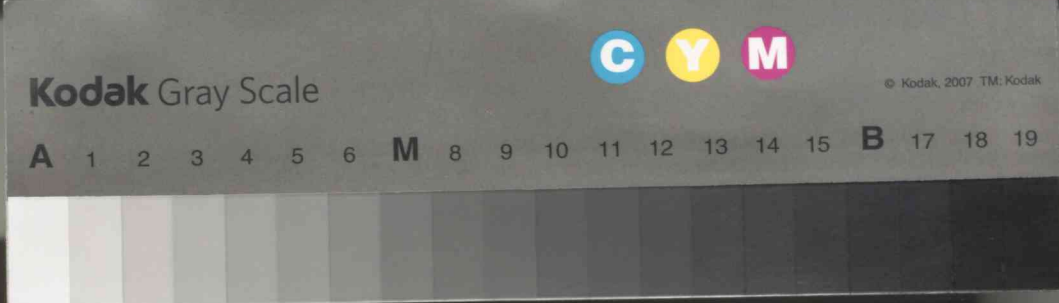
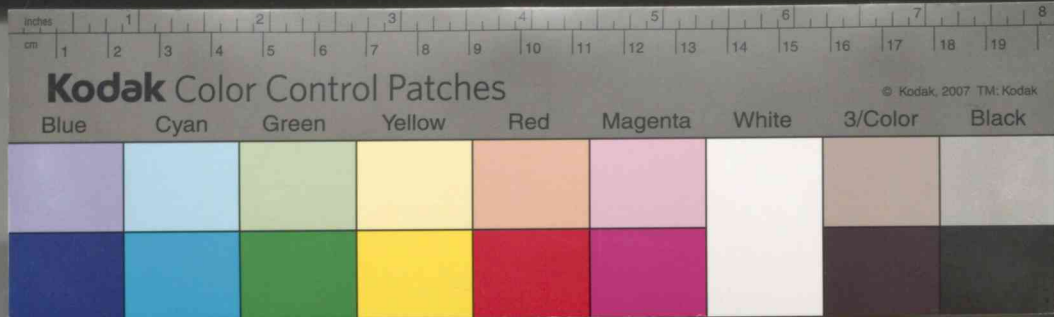




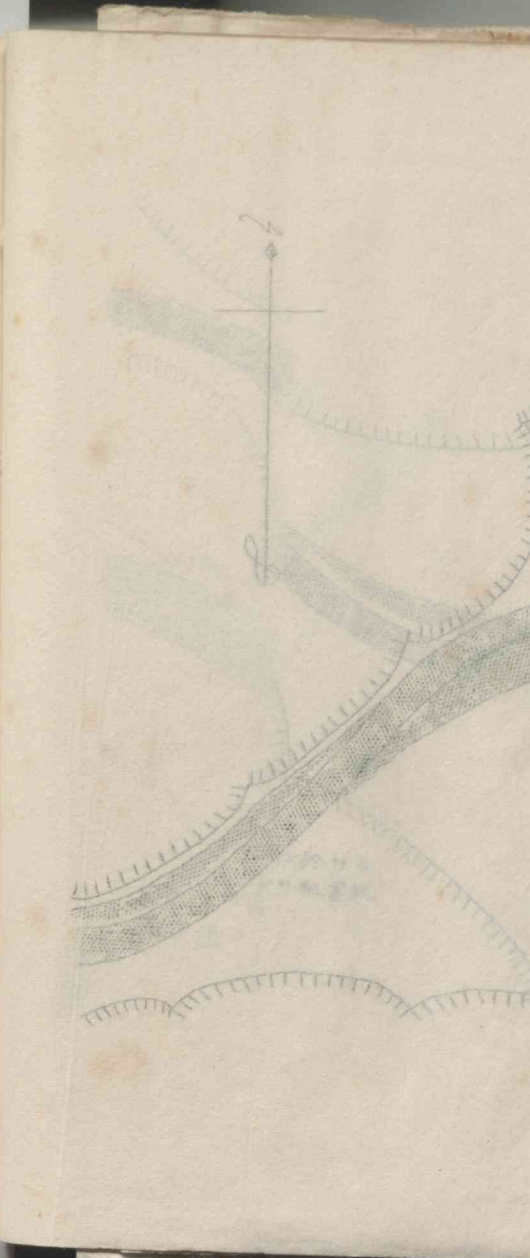
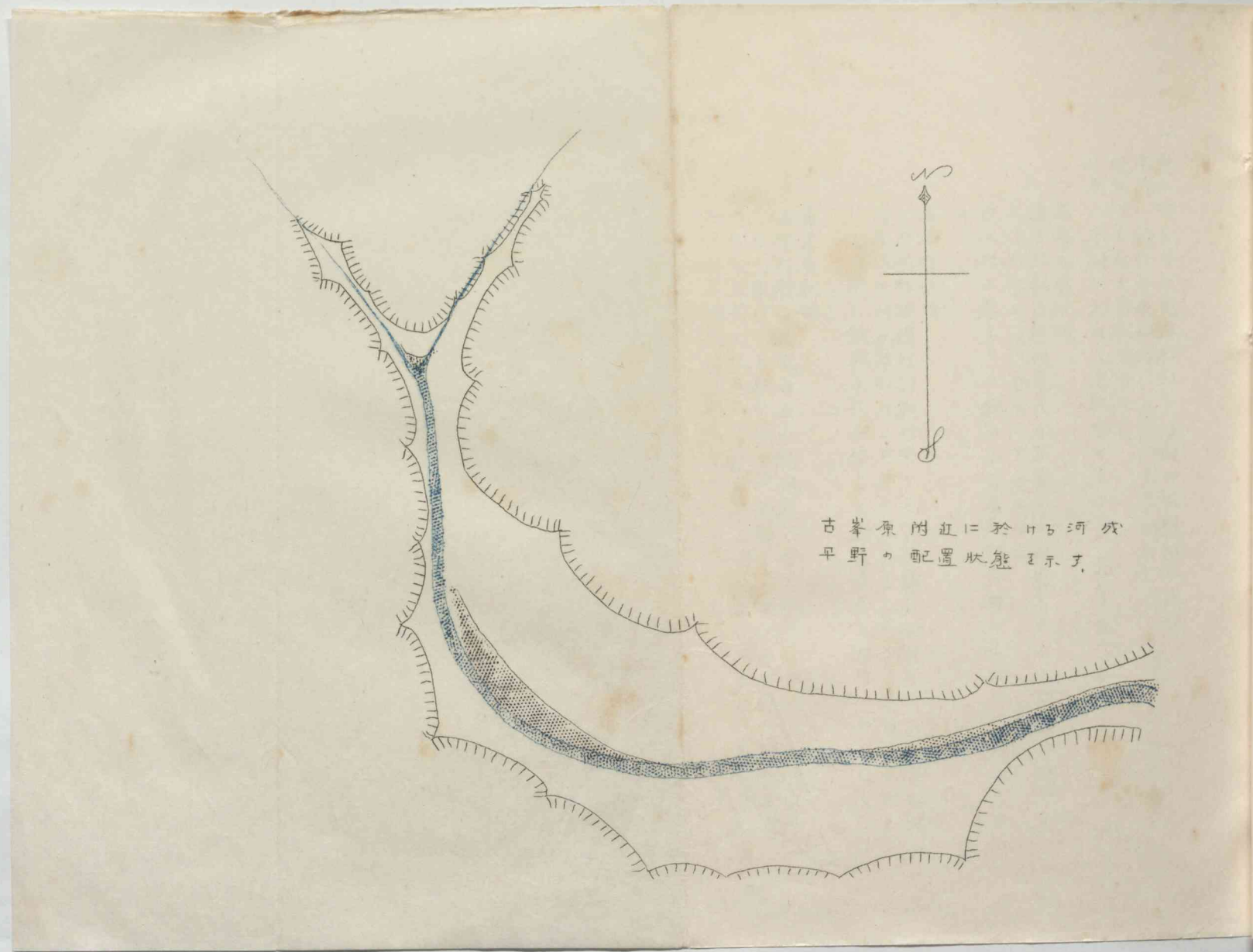
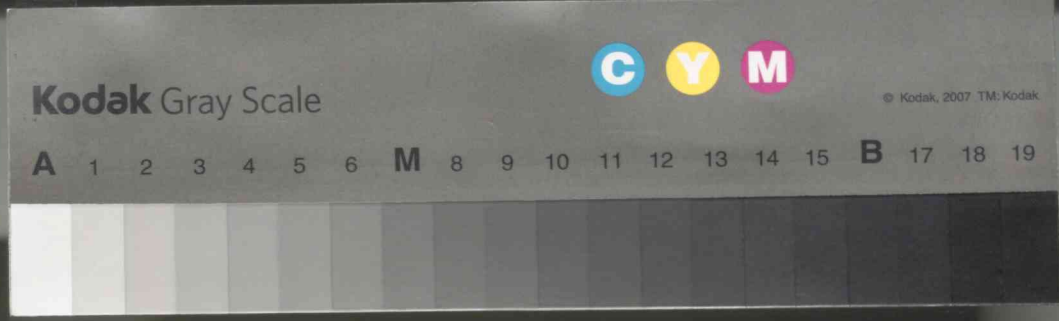
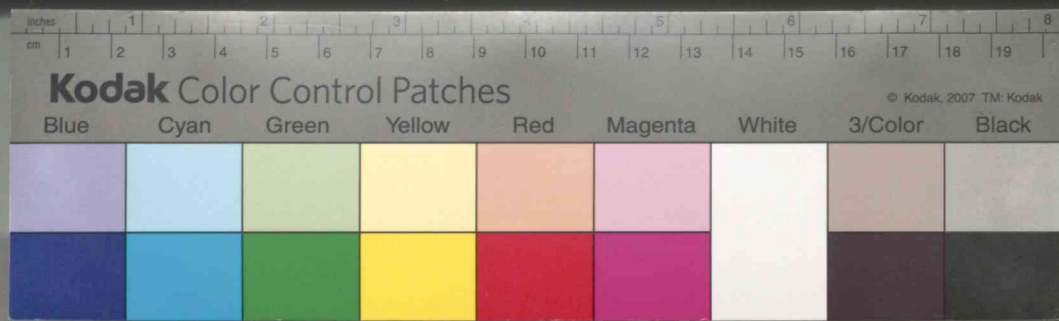




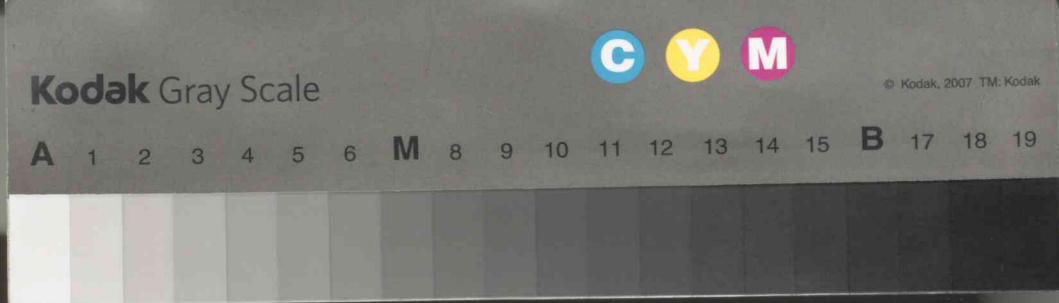
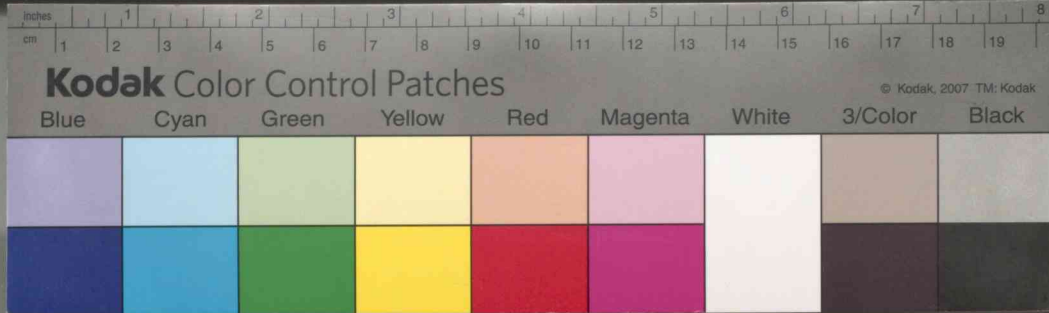




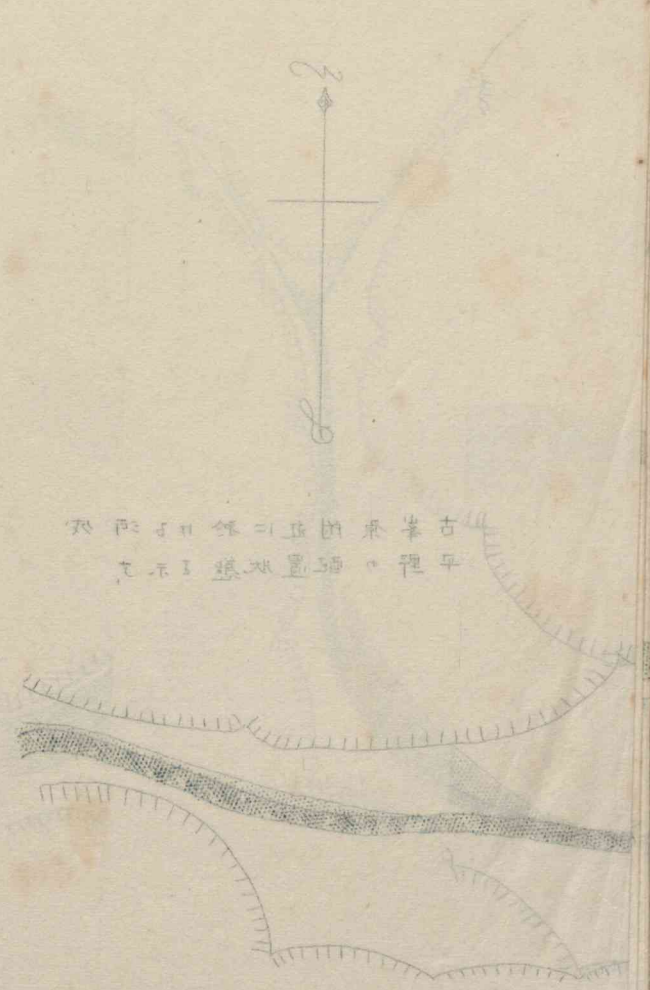




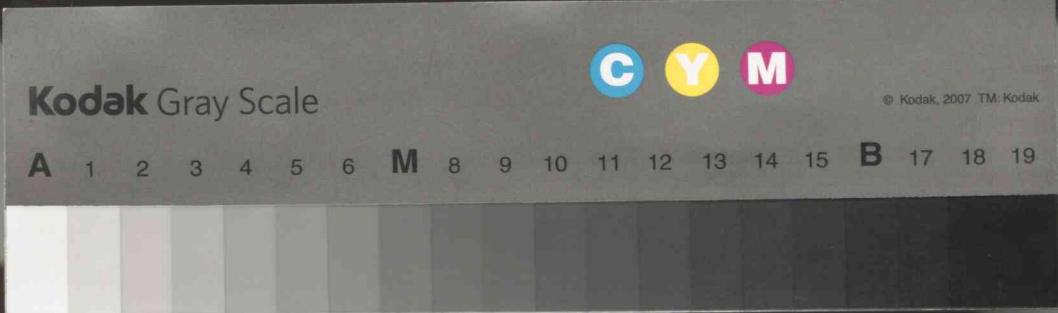




□ 本扇地とその構成材料と傾斜の状態排水関係  
 今左に於ける扇地は少く見られ下流方面は  
 一 塩澤の扇地は粘板岩及び花崗岩の砂礫岩にして傾斜角度は下  
 構材は粘板岩及び花崗岩の砂礫岩にして傾斜角度は下  
 方は大程度上方に至り二十度と存する  
 排水は山麓より二條の小谷扇地を横ぎる所々に泉存とも  
 ぬる  
 二 瀧花扇地は主として花崗岩砂岩などにして傾斜  
 角は十度から二十度排水は主として花崗岩砂岩などにして傾斜  
 して非常に飲料水に不便なる所なり泉及び井は一つもなし  
 三 落合扇地は花崗岩及び粘板岩にして水係は二條の小谷より  
 構成材料は花崗岩及び粘板岩にして水係は二條の小谷より  
 在り一条川に扇地中央部を流れ他の一側は西側を  
 かねて大川に入る不動瀧の扇地あり泉一  
 井あり傾斜角は八度なり







八、水系の配置状態  
 本村に於ける水系の配置状態は非常に良く、本村中央部を縦に大  
 芦川が流れる。本流は古越路に於て二つに別れ、一方は古峯原方面に走  
 り、一方は白井平より北上して河原小屋大瀧方面に走る。前述の如  
 く、本村には粘板岩、砂岩、砂礫岩、頁岩、各山地の花崗岩、玄武岩、  
 清約一等の粘板岩、砂岩、砂礫岩、頁岩、各山地の花崗岩、玄武岩、  
 地勢圖を参照せしむれば、各山地の花崗岩、玄武岩、  
 古峯原方面の河川は、地蔵岳、夕岳、の南面と、雨水を集めたるもの  
 が本流となり、古峯神社西側にて古峯系北東の山(一ニニ一)の西  
 側、雨の集りたる流、水と古峯系にて合つし下流二の、米にし  
 て三枚石の北より来る谷、又之に合す。松手の東に於て、横根、西  
 り来る谷を合せ、山原に至りて、横根、東北面の流水、東に於て、横  
 日岳の突出せる山系、の南面に於て、横根、東北面の流水、東に於て、横  
 山間に於て、大明神山の西面に於て、横根、東北面の流水、東に於て、横  
 せり、河に於て、東に於て、横根、東北面の流水、東に於て、横  
 この間、大瀧、小屋、の流、幾、か、は、記、述、せ、了、す。  
 大瀧、小屋、の流、幾、か、は、記、述、せ、了、す。  
 澤、が、その、源、を、な、し、大瀧、に、於、て、小、来、川、境、を、及、日、光、町、と、い、ふ、境、の、東

四、上保扇状地  
 夕日岳の山麓東側にあり、構成材料は花崗岩及粘板岩の砂礫  
 岩にして傾斜角は十八度の急傾斜をなし、排水状態は悪く、  
 夕日山麓より少し水の流れ落ちるを見るのみなり。

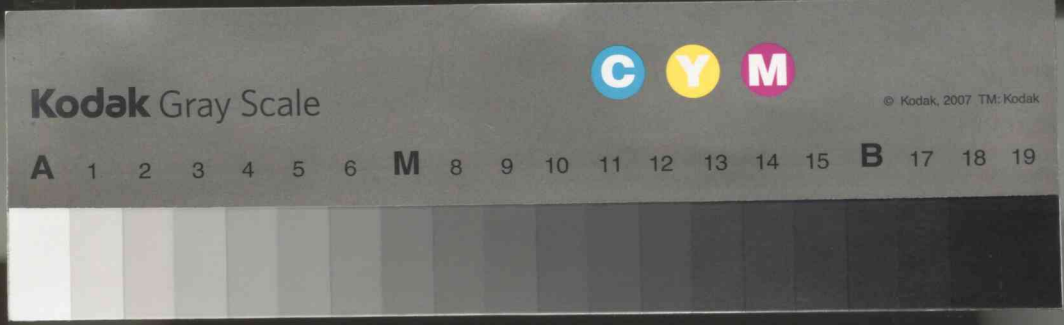
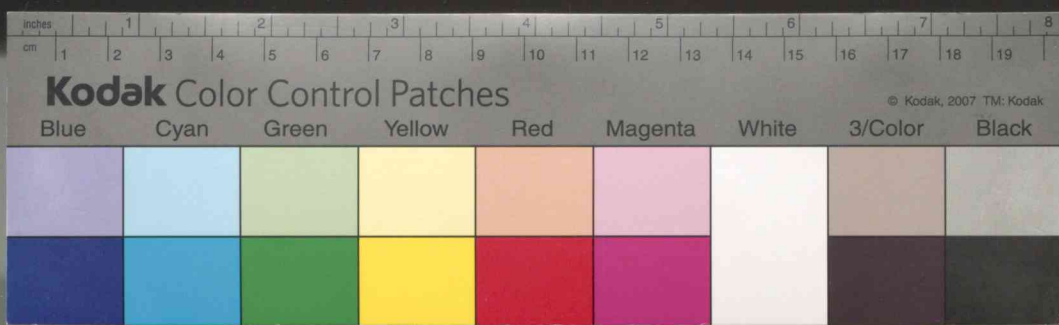
五、河原小屋扇状地  
 この地の構成材料もやはり上保扇状地に等しく、火成岩及  
 粘板岩の頁岩の等、砂礫岩にして傾斜角は十度水  
 系は東端に一条あるのみにして、飲料水としてけ山から引水  
 又は河水を使用するなり。

前記の他に小なる扇状地は、まだ所々に見受くるも記述する程の  
 もの存り、これらは、盆状地として見らるゝも、東側と合して一盆地と  
 白井平、南側、扇状地として見らるゝも、東側と合して一盆地と  
 見るが、適当なれば、盆地に於て述べ。

飲料水には多く、この谷水を引きて使用せり。







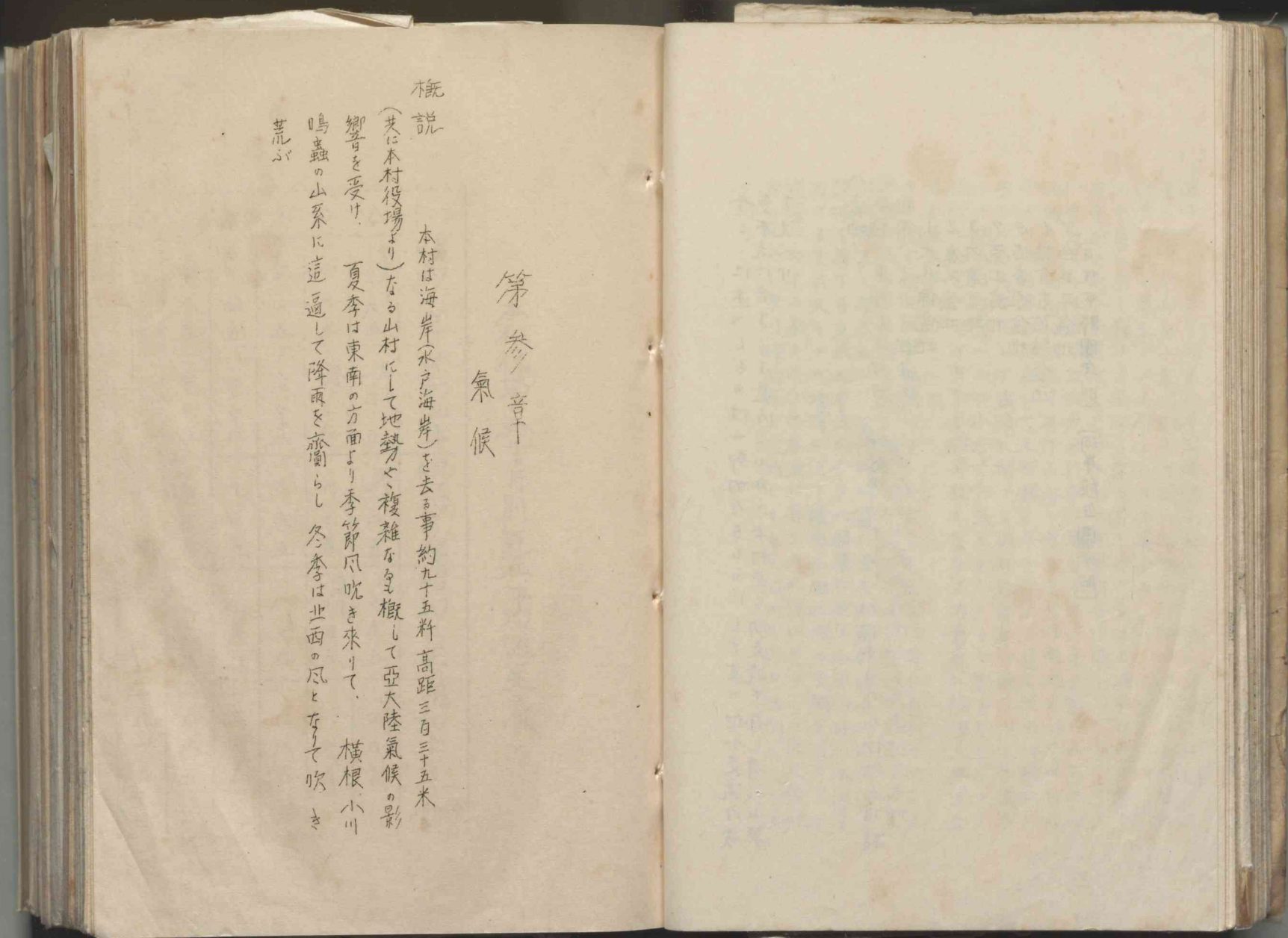
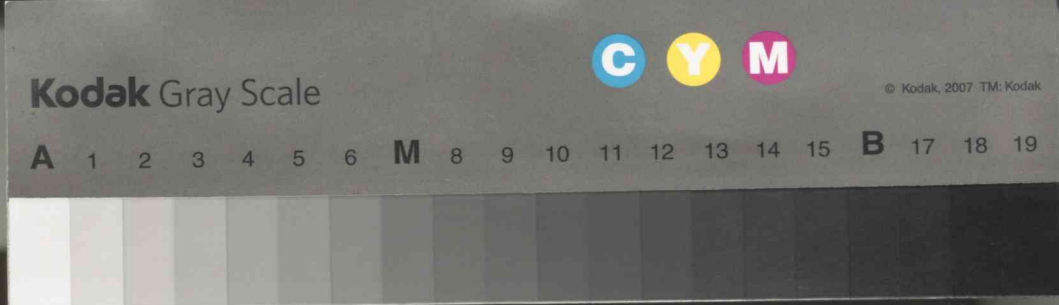
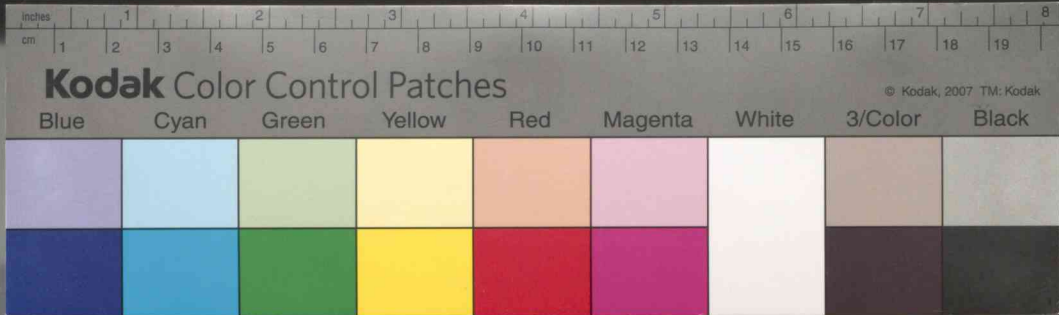
面の合流と合し河原小屋上保を經て川中島に至るこの間夕日  
 岳の東スロープと小來川村との境六郎地山の西スロープとの雨水  
 は合流して幾条かの小谷となりて流入る  
 川中島に於て露平方面より來る谷と合さるこの流水は夕日嶽の  
 東南面の雨水流出せしものにして水量割合に多し  
 川中島より合流せしものにして合流より古峯方面に流入する  
 流域と及対面に流域を有する谷と合さり南流をつかひ白井  
 平より四百米の地奥にて又西側より合流を見て流北は東北に  
 変り又三百米にして東南に向つて流れ古峯方面の川と合流す  
 この間合流して幾つかの小谷を合流してこゝまで來るなりこのよ  
 りは二川合さつて即ち本村寄柱となりて内倉麓入塩澤大久保と  
 流東大芦村へそいぐ  
 その間に於て大芦本流にそゝ主なる支流は兩手南側の山より  
 本流に入りたるもの兩手東北側より本流に入るもの支流は小來  
 川流域より來るものなり内倉に至り蘇村境小川山附近に  
 流域を有する支流又本流に入り八岡東に於て小來川時水源を  
 有する支流又塩澤に至り鳴虫山西北側に流域を有する谷  
 塩澤に於て二条となりて本流に合し大久保に至りこの大久保地  
 方の北西小來川時附近を流域とする支流大久保の西側より本流  
 に合す

今この述べしものは一部分の存るものにして其の他小支流は幾  
 多本流に合するを見らこの如く本村に至る所支流を有し湧流山麓  
 を洗へり

八盆地  
 本村の主なる平地は全部盆地形をなし多くは河川の侵蝕及堆積  
 作用によりて出來たるものなり今其の主なるものを記すれば  
 1. 大久保盆地  
 2. 鹿入盆地  
 3. 内倉盆地  
 4. 原山盆地  
 5. 古峯原盆地  
 6. 古井古越路盆地  
 7. 白井古野盆地  
 8. 河成平野  
 9. 圖參照 (河岸段丘圖參照)







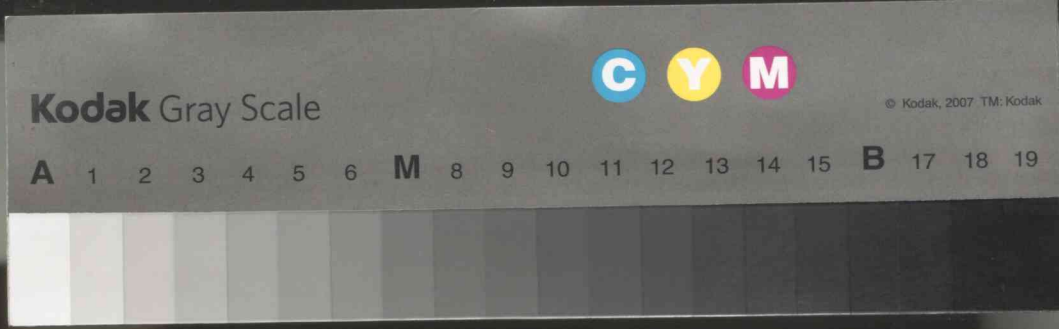
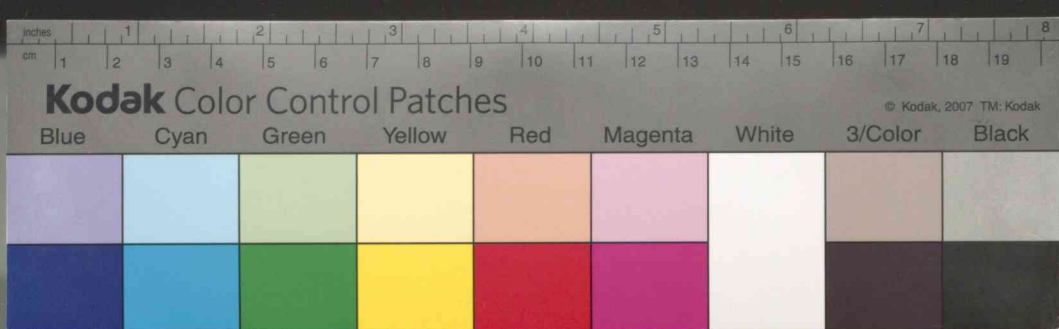
概説

本村は海岸(水戸海岸)を去る事約九十五料高距三百三十五米  
(其に本村役場より)なる山村にして地勢々々複雑なるを概して亞大陸氣候の影  
響を受け、夏季は東南の方面より季節風吹き来りて、  
鳴虫の山系に這這して降雨を齎らし、冬季は北西の風となりて吹き  
荒ぶ

第 参 章  
氣 候





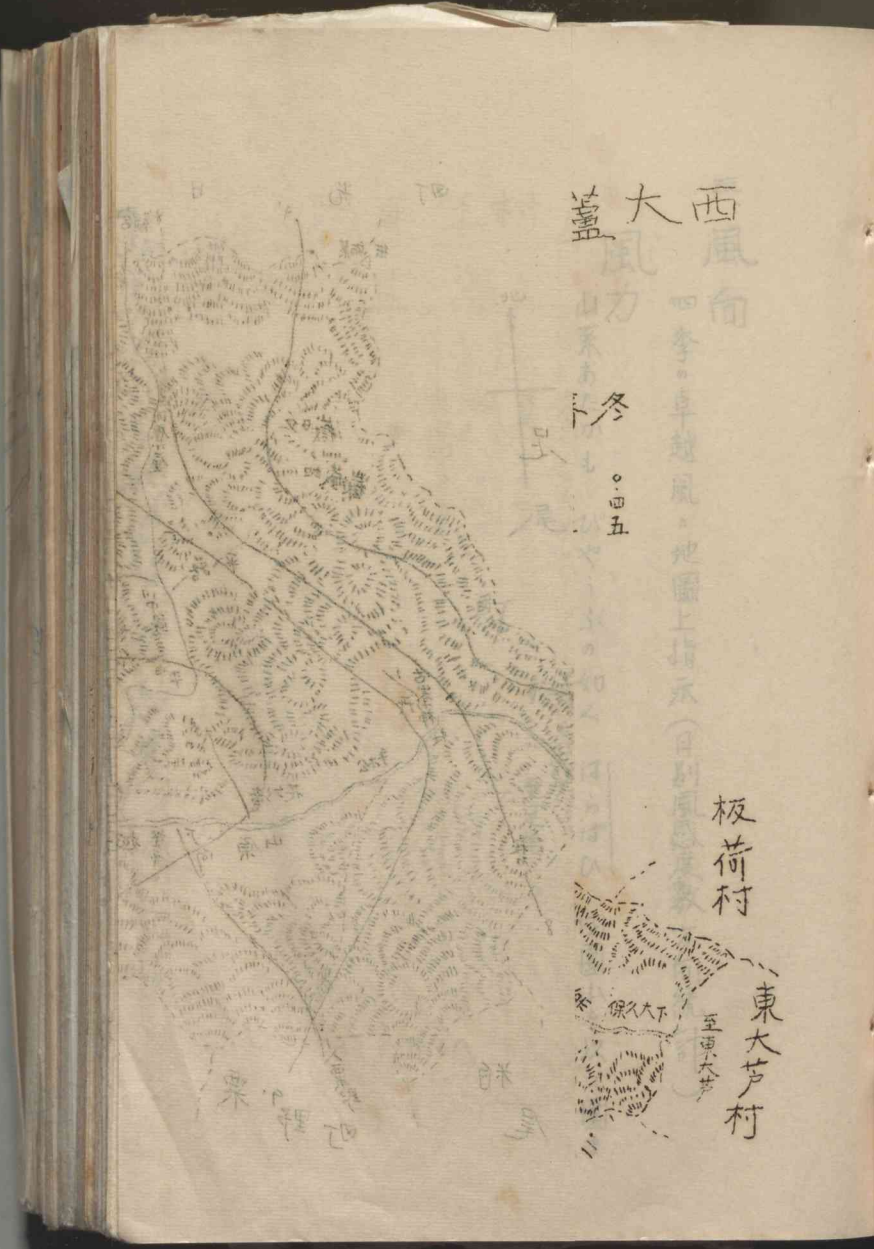
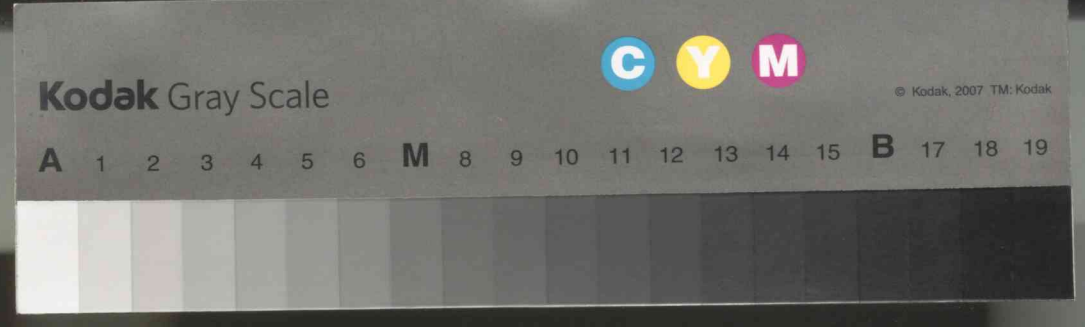


本村後場に於ける月別気温平均温度表

6	5	4	3	2	1	
一六 九五	一四 一五	七 四五	三 〇五	一 二五	零 〇下 六五	昭和1年
一八 六五	一四 〇五	一〇 七五	三 〇五	零 下 七五	零 下 一五	昭和2年
一八 一五	一五 六五	九 六五	三 六五	一 〇五	零 下 二五	昭和3年
一八 五五	一三 八五	九 六五	八 七五	零 下 四五	零 下 九五	昭和4年
一九 一五	一五 六五	一一 二五	五 八五	二 〇五	零 下 〇五	昭和5年
						平均







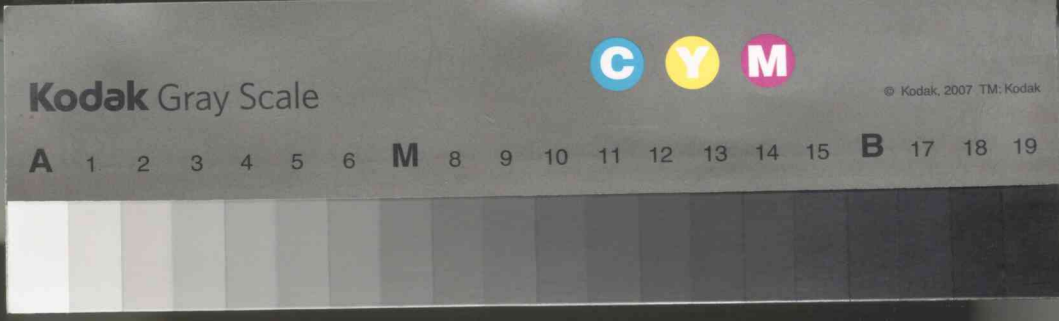
均平 12 11 10 9 8 7

一〇、五三	〇、六五	五、六五	一、七五	二〇、四五	二三、五五	二二、一三
一一、〇三	一、五五	七、四五	一三、七五	一八、五五	二三、七五	二二、七五
一一、四五	一、六九	八、三五	一四、二五	二一、六五	二一、九五	二一、五五
一一、九五	五、一五	八、〇五	一四、五〇	一八、〇五	二四、二五	二三、九五
一一、一四	四、八五	五、八五	一三、九五	一八、八五	二四、四五	二三、八五
11.42						

三



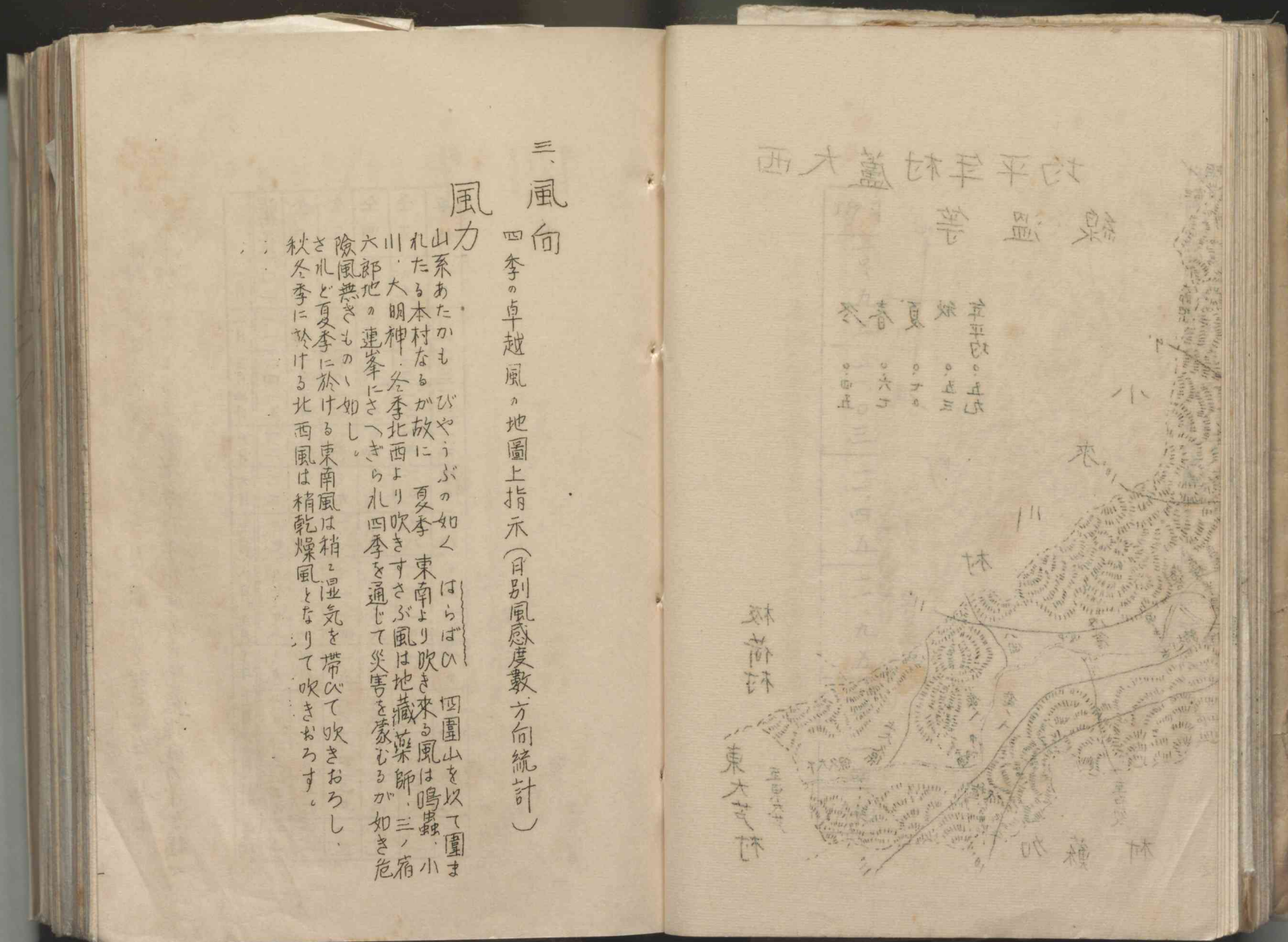
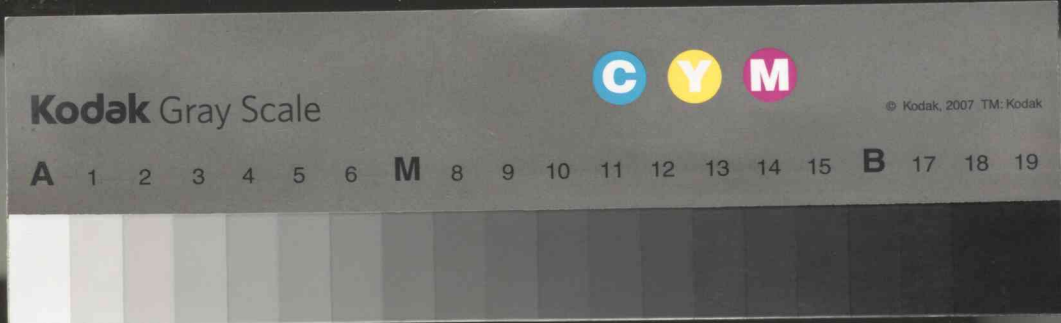
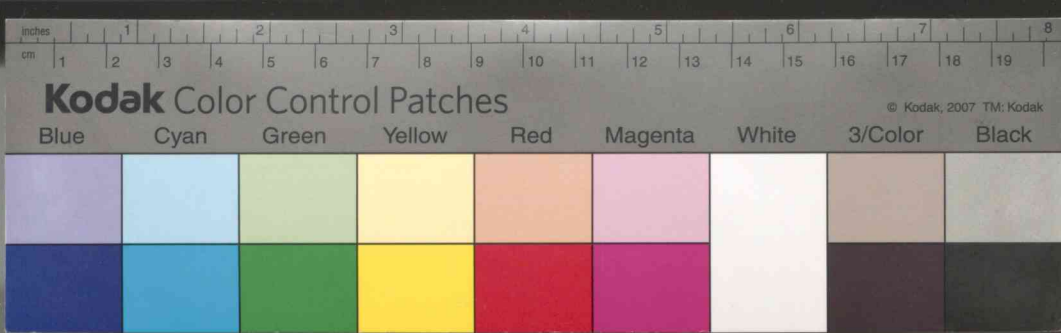




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

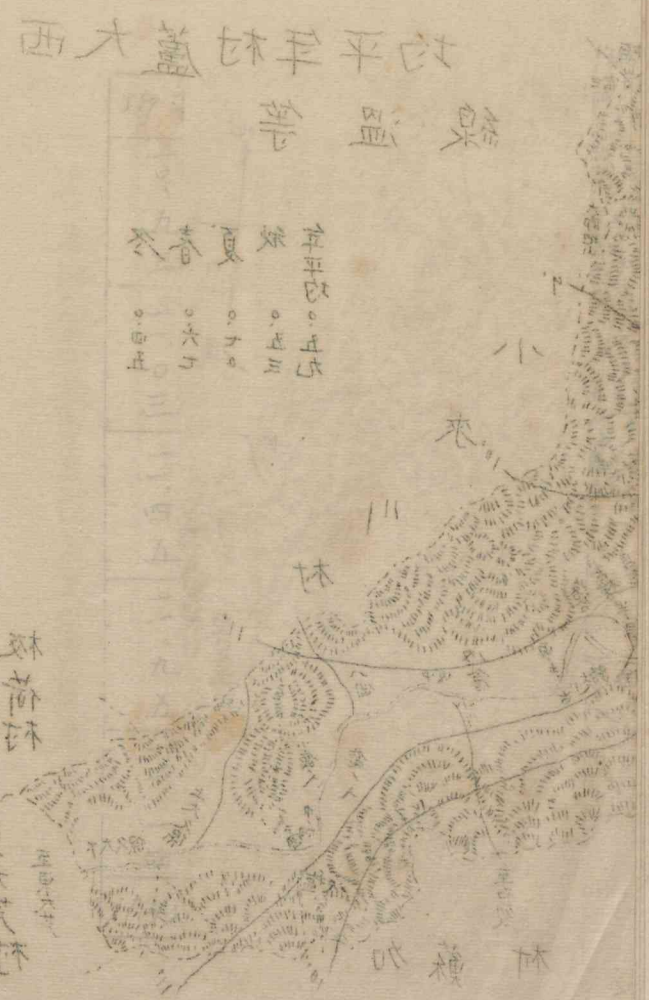




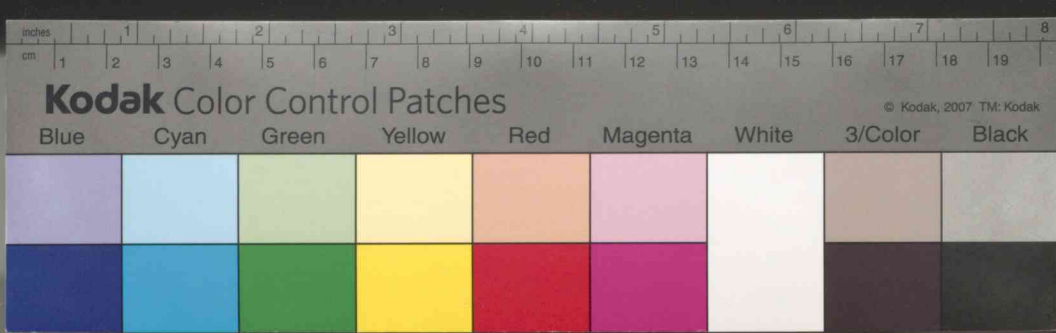


三、風向  
 風力  
 四季の卓越風の地図上指示(月別風感度敷方向統計)

山系あたかもびやうぶの如く、四圍山を以て圍ま  
 れたる本村なまか故に、夏季、東南より吹き来る風は鳴蟲、小  
 川、大明神、冬季北西より吹きすさぶ風は地藏、築師、三ノ宿  
 六郎地、連峯にさへきり、四季を通じて災害を蒙るゝか如き危  
 険風無きもの如し。  
 されど夏季に於ける東南風は稍、湿気を帯びて吹きおろし、  
 秋冬季に於ける北西風は稍乾燥風となりて吹きおろす。







### 四季

板荷村

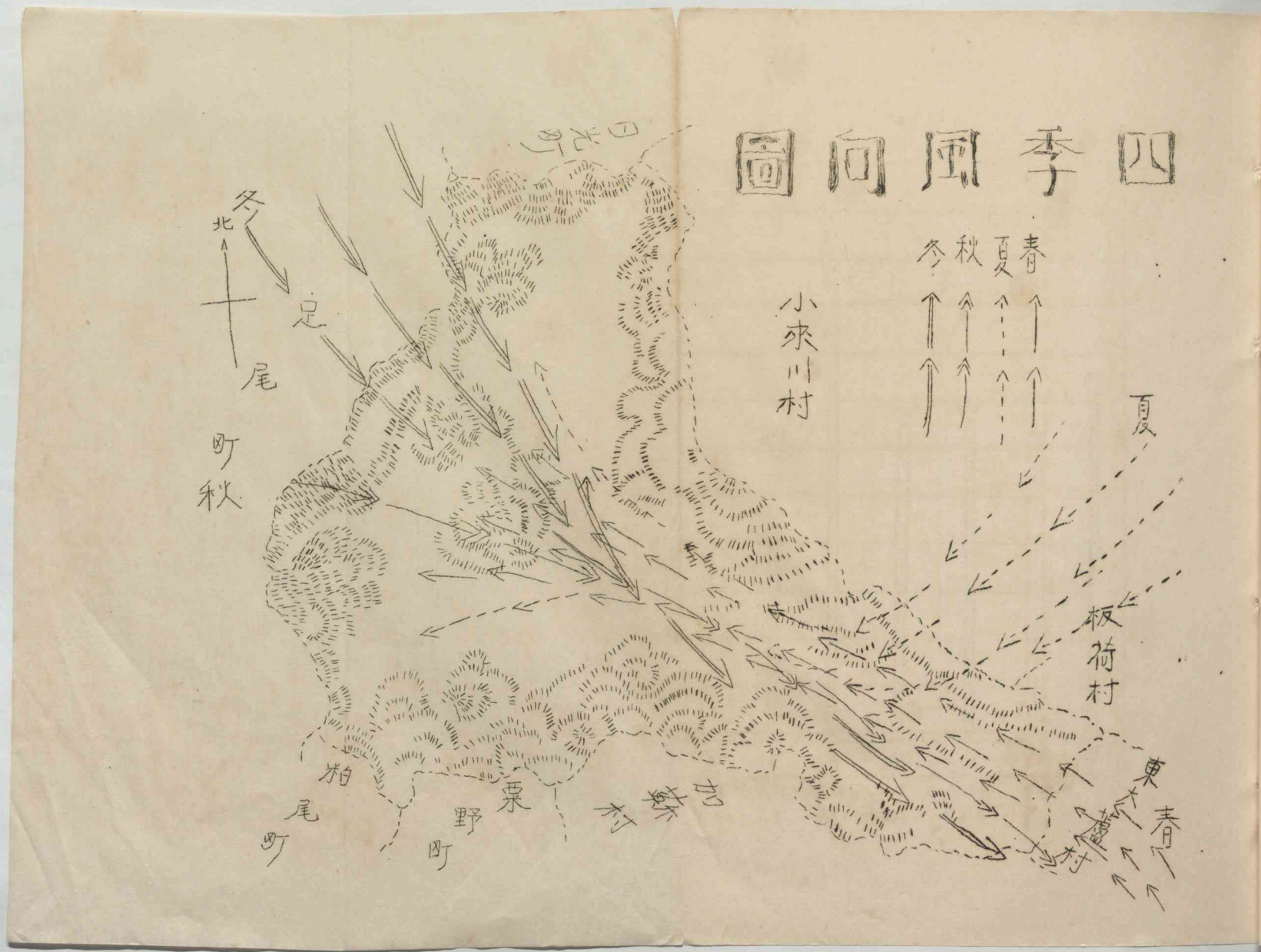
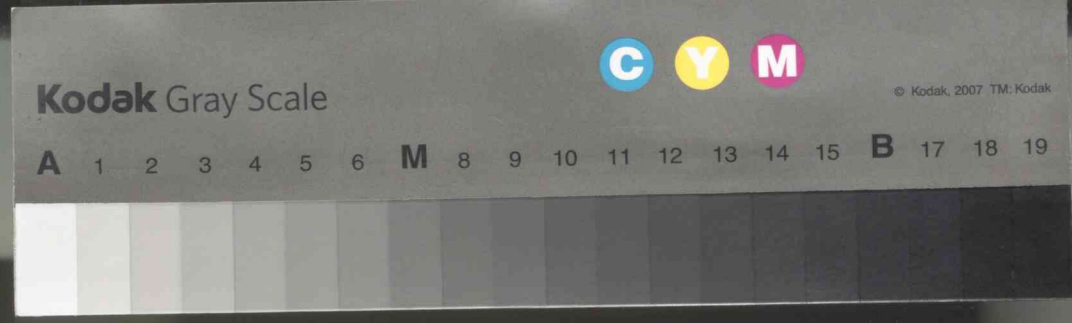
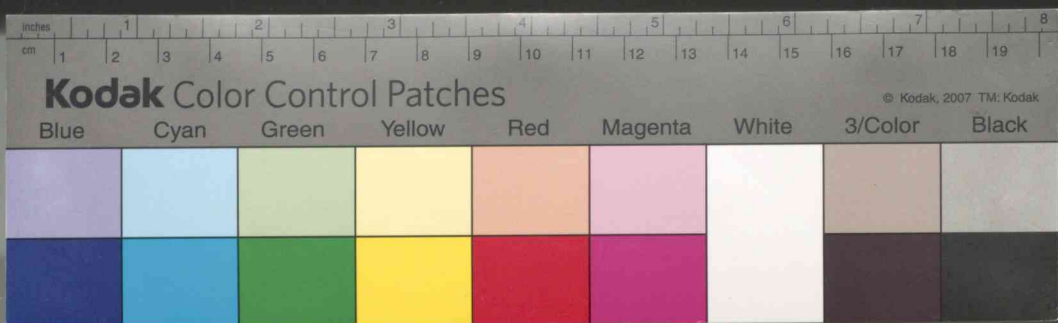
平均	全五	全四	全三	全二	昭和元年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	平均
一〇	〇五	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一

本村に於ける五年間平均各月の風力を記せば左の如し。  
本村に於ける各月最強風力平均並各月中最強風力日を掲ぐ

五



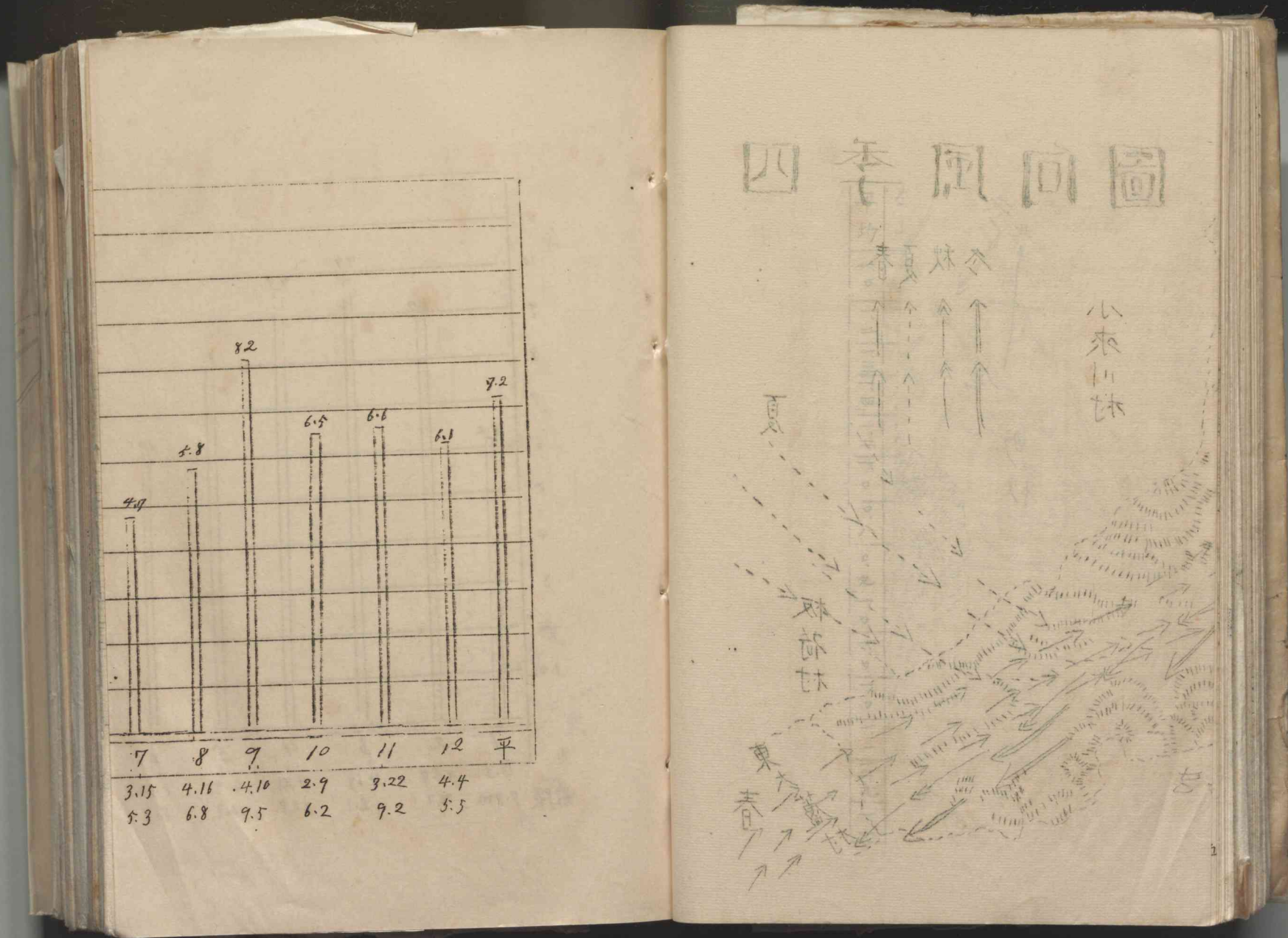
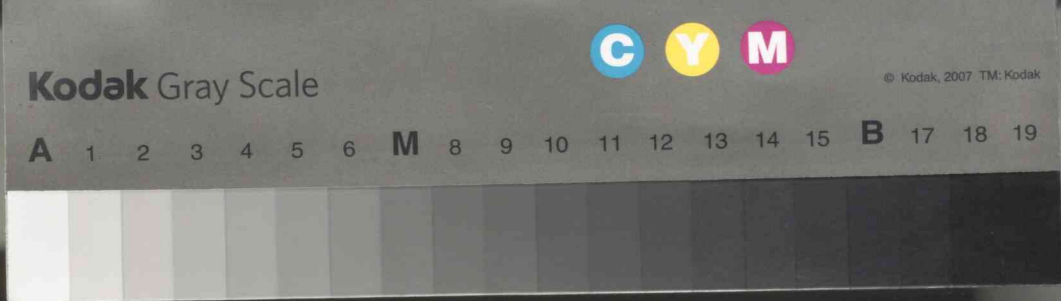
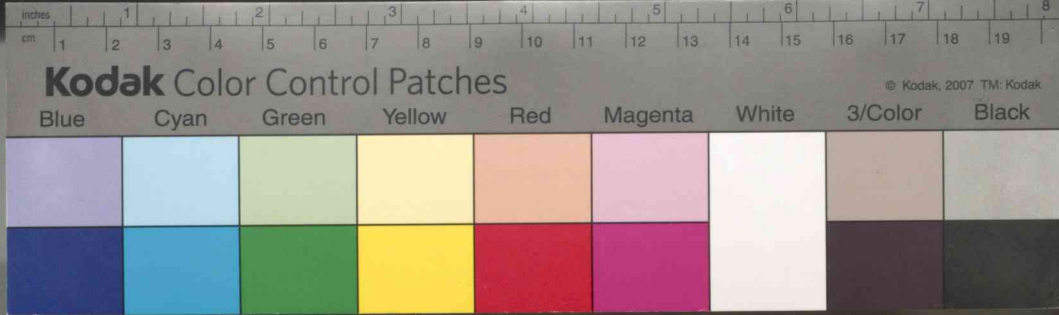




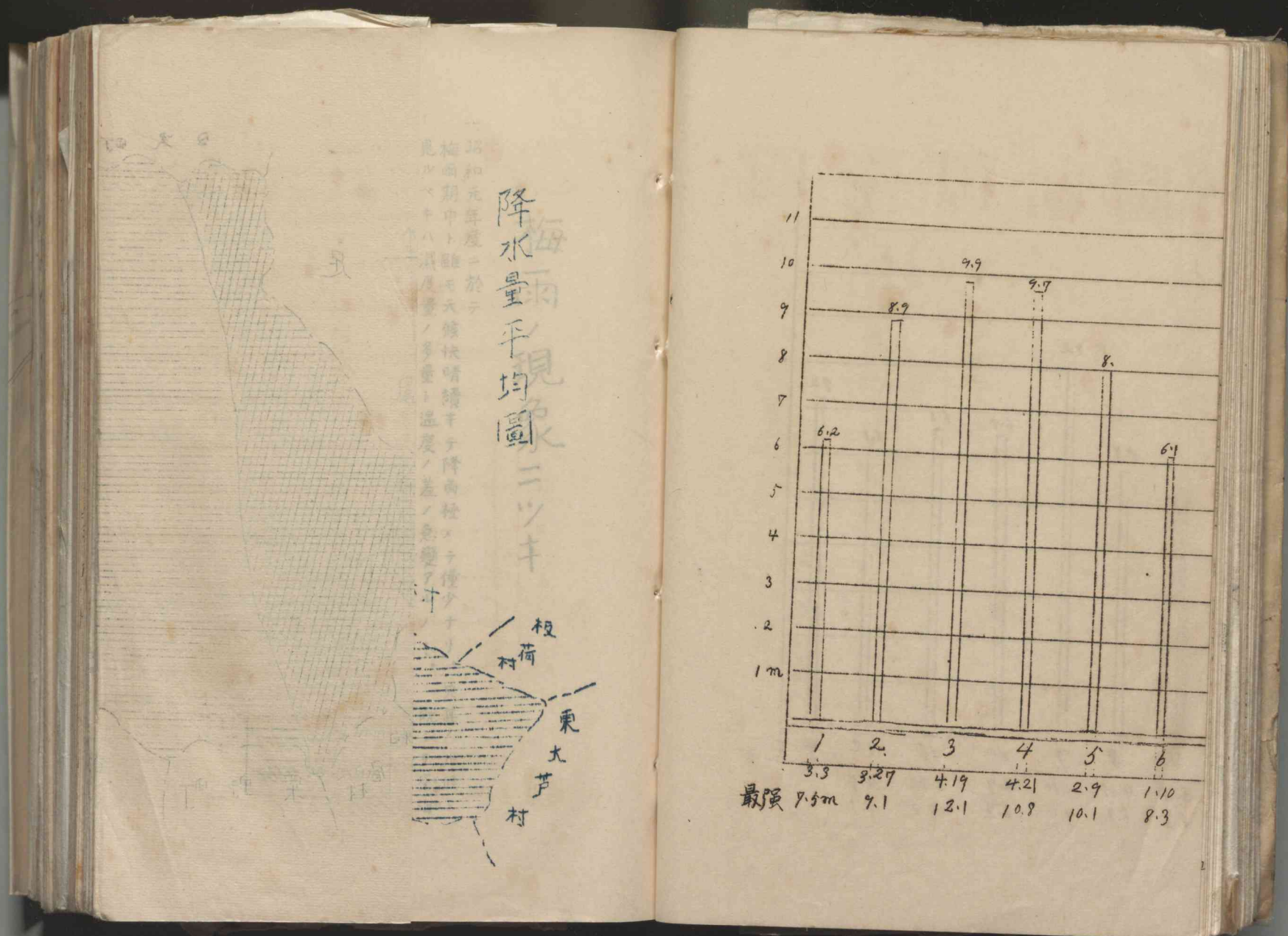
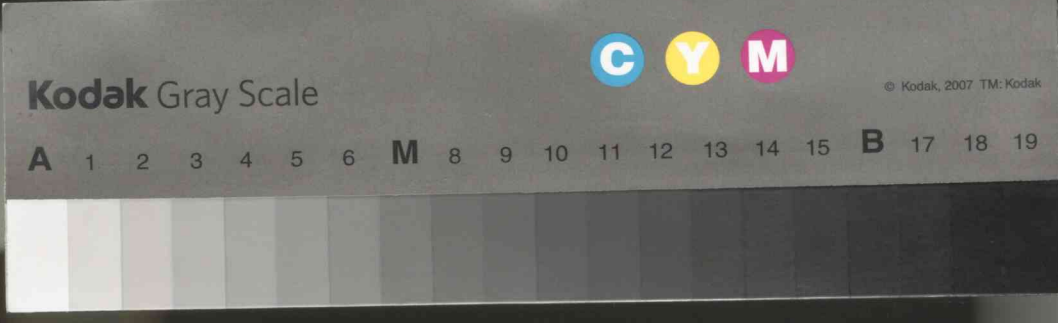
平均	全五	全四	全三	全二	昭和元年	
一〇	〇五	一一	一一	一一	一一	一月
一一	一一	一〇	一一	一一	一一	二月
一一	一一	一〇	一一	一一	一一	三月
一一	一一	一〇	一一	一一	一一	四月
一一	一一	一〇	一一	一一	一一	五月
一〇	〇八	〇九	〇九	〇九	〇九	六月
〇八	〇八	〇七	〇七	〇七	〇七	七月
〇九	一一	〇七	〇八	〇七	〇七	八月
一〇	一〇	〇八	一〇	〇八	〇八	九月
一〇	一一	〇七	一〇	〇九	〇九	十月
一〇	〇九	〇八	一〇	〇九	一〇	十一月
一一	〇八	〇八	一〇	一〇	一〇	十二月
三九	三六	三二	三五	三六	三六	計
一一	一一	〇九	一一	一一	一一	平均



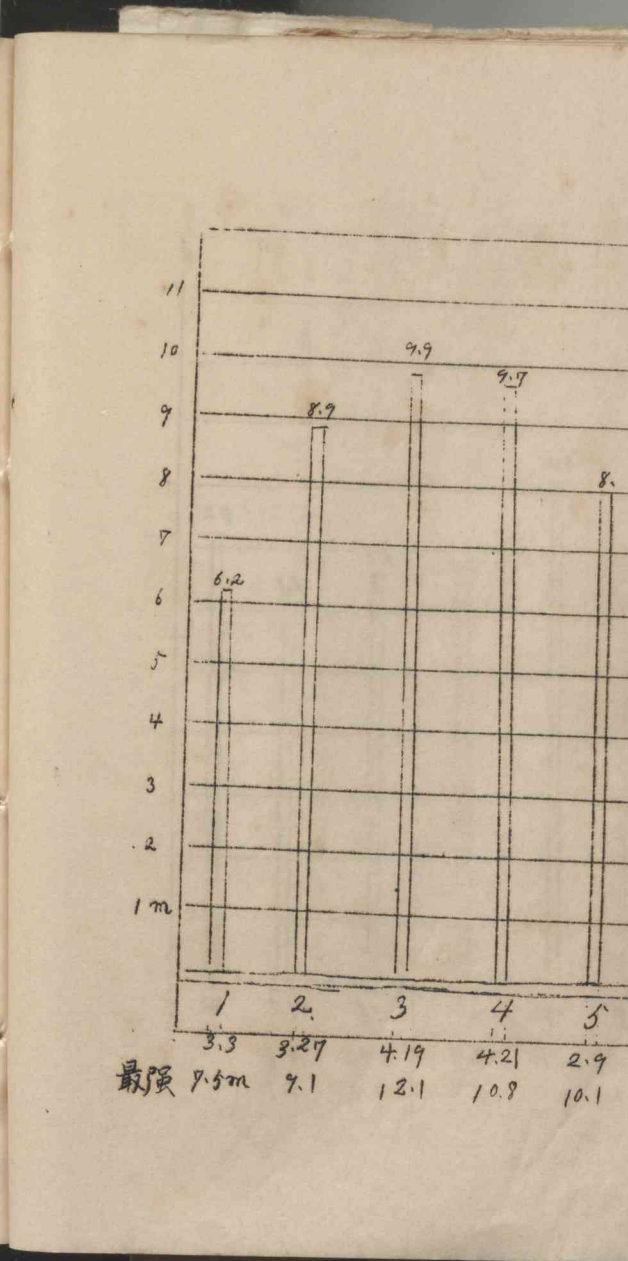
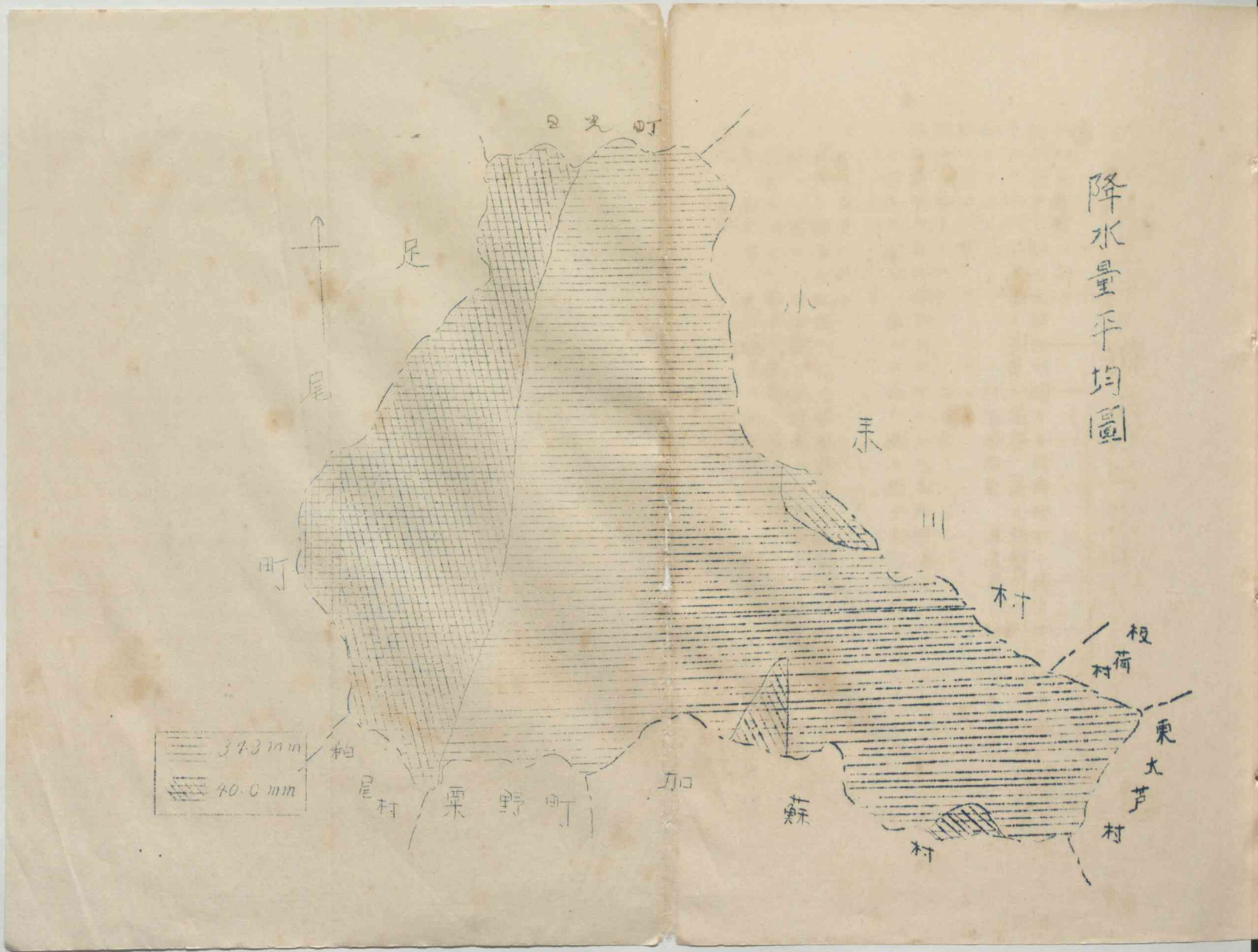
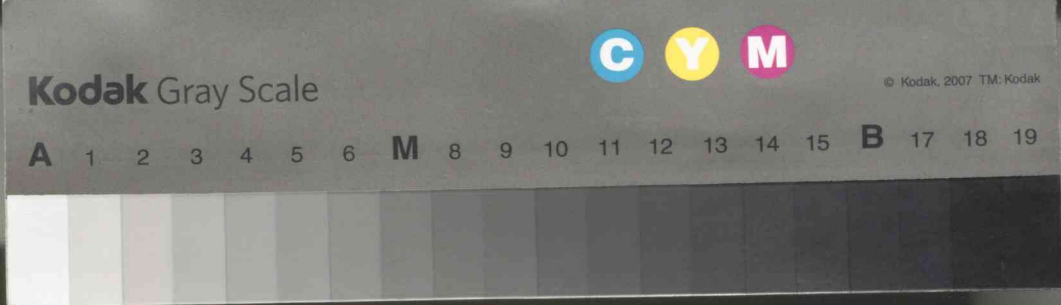




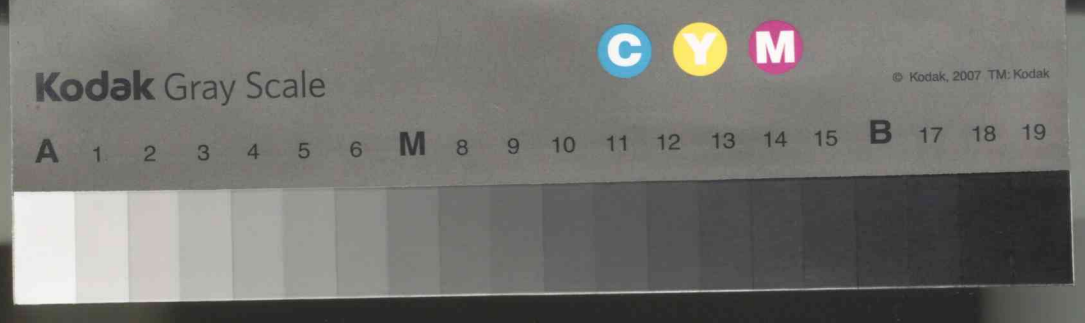










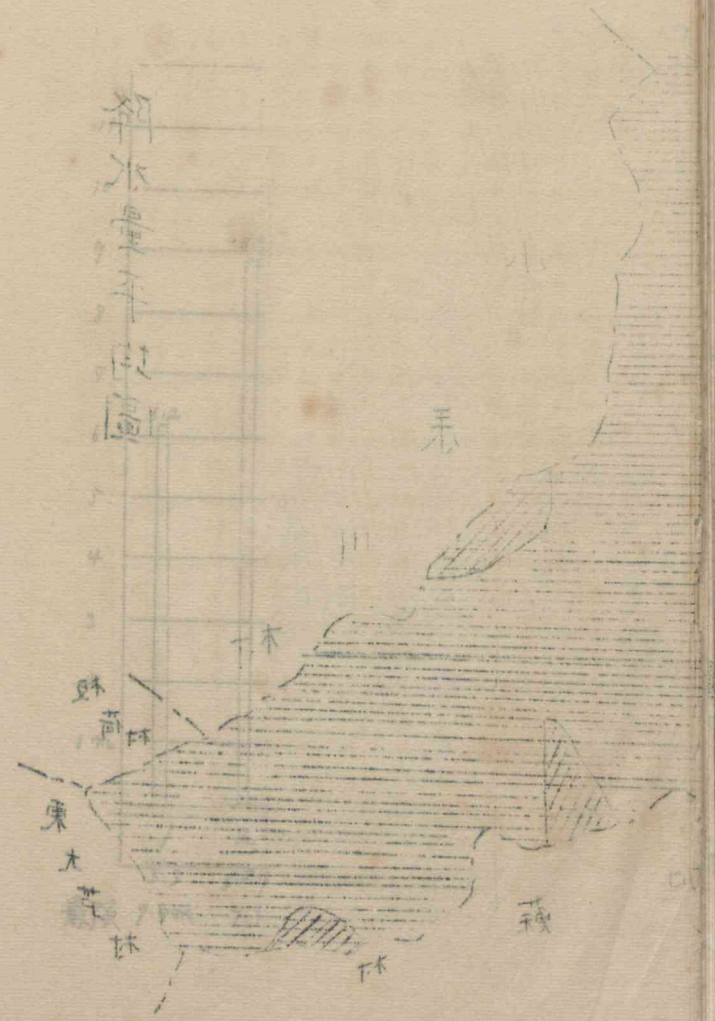


# 梅雨ノ現象ニツキ

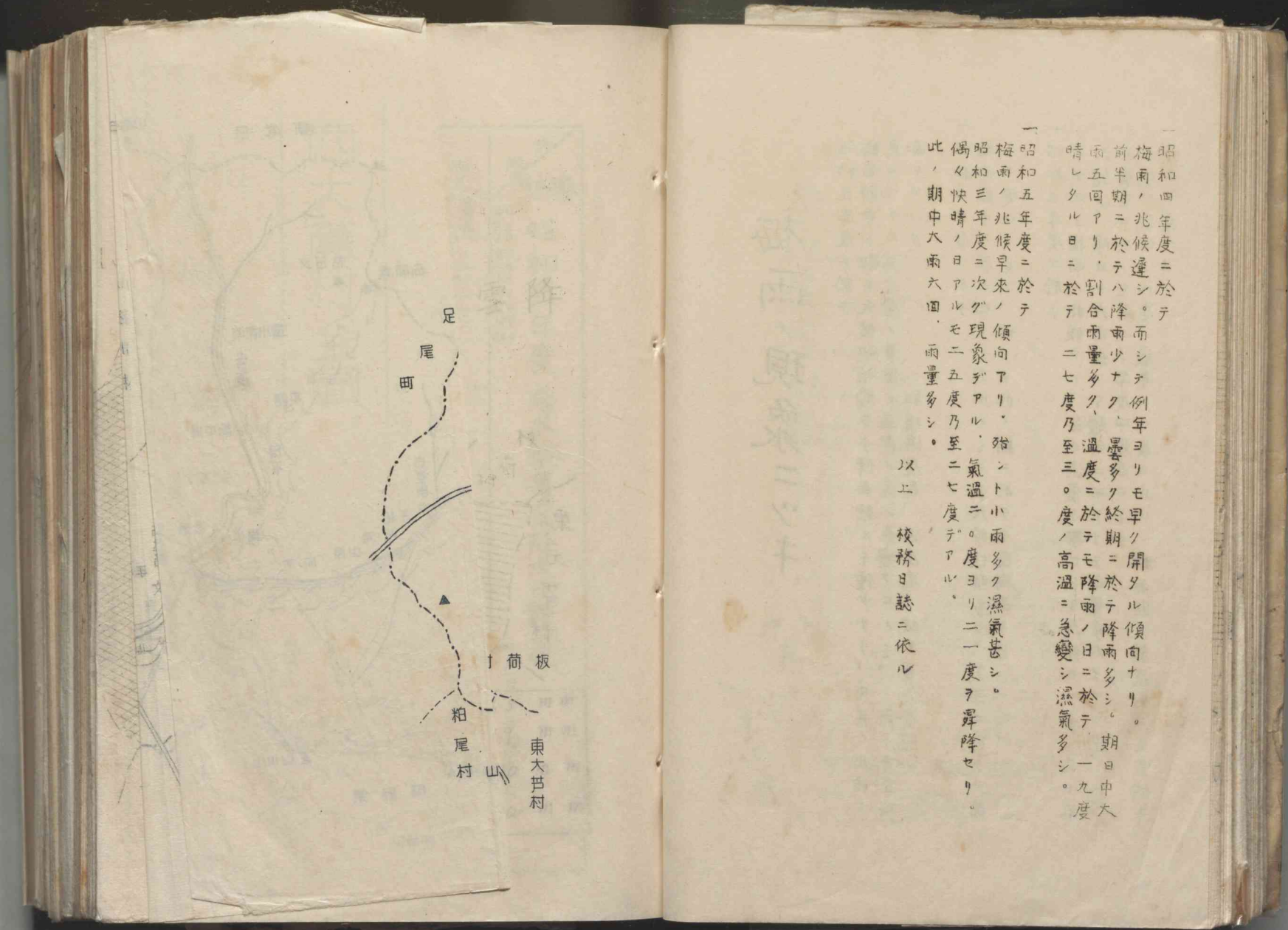
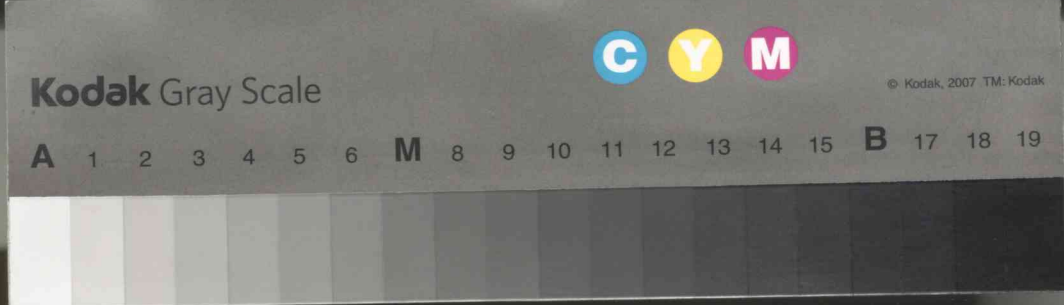
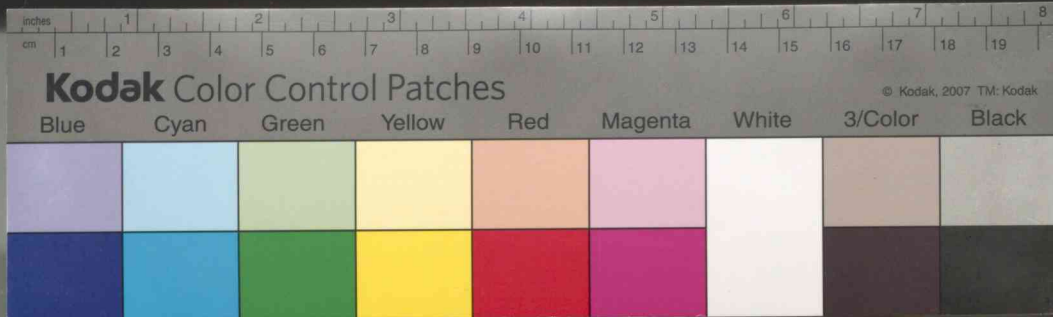
昭和元年度ニ於テ  
 梅雨期中ト雖モ天候快晴續キテ降雨極メテ僅少ナリ。只其ノ兆候ト  
 見ルベキハ湿度量ノ多量ト温度ノ差ノ急變アルノミ。既シテ空梅  
 雨テアツタ。  
 (別項湿度表、温度表、降雨量表参照)

昭和二年度ニ於テ  
 梅雨期中大雨五回アリタルノミニテ天候快晴多シ。氣温ニ於テモ著  
 シキ變化ヲ見ズ。依ツテ此ノ期ニ於テモ空梅雨ト見ルベシ。

昭和三年度ニ於テ  
 早クヨリ梅雨ノ兆候アリ、毎日濕氣ヲ帯ビタル天候ニテ曇、先小雨  
 引續ク、隔日ニ大雨來リ亦驟雨ニ回アリテ雨量多大デアツタ。  
 湿度量ニ於テモ前ニテ年度中最高デアル。  
 温度ハ最低ニハ度、最高ニ一度ニ止ル。梅雨期ヲ經過スルモ引續キ  
 降雨ヲ見ル。



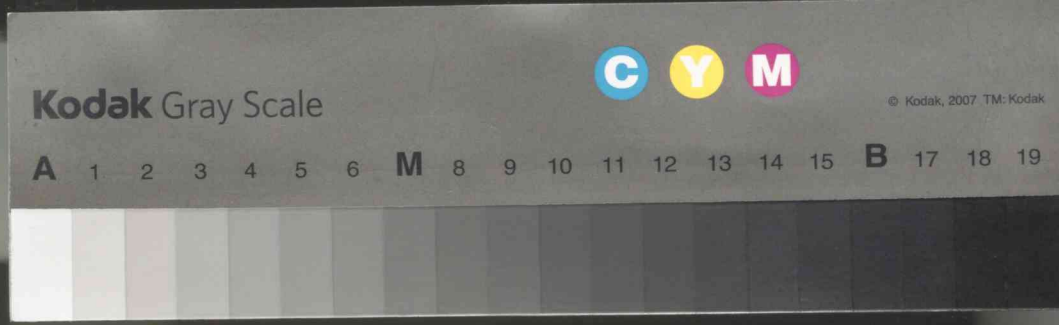
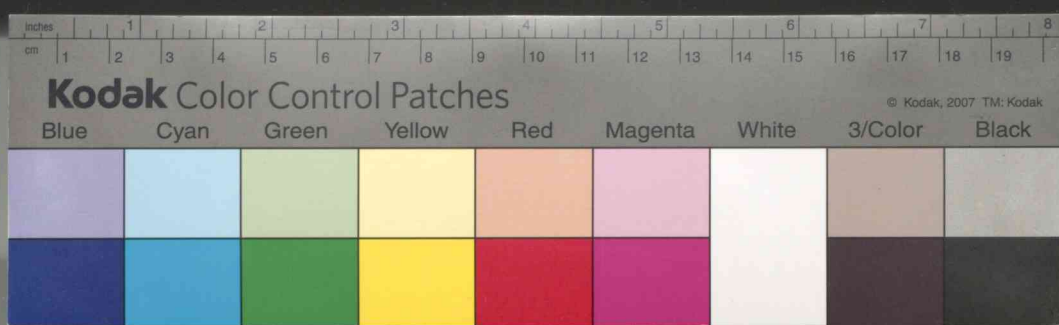




昭和四年度ニ於テ  
 梅雨、兆候遅シ。而シテ例年ヨリモ早ク開タル傾向ナリ。  
 前半期ニ於テハ降雨少ナク、曇多ク終期ニ於テ降雨多シ。期日中大  
 雨五回アリ、割合雨量多ク、温度ニ於テモ降雨ノ日ニ於テ一九度  
 晴レタル日ニ於テニ七度乃至三。度ノ高温ニ急變シ濕氣多シ。  
 昭和五年度ニ於テ  
 梅雨、兆候早來ノ傾向アリ、殆ント小雨多ク濕氣甚シ。  
 昭和三年度ニ次グ現象ナル、氣温ニ。度ヨリ二一度ヲ昇降セリ。  
 偶々快晴ノ日アルモ二五度乃至二七度ナル。  
 此ノ期中大雨六回、雨量多シ。  
 以上 校務日誌ニ依ル







昭和五年度ニ於テ  
 梅雨ノ兆候早來ノ傾向アリ、殆ント小雨多ク濕氣甚シ。  
 昭和三年度ニ次グ現象ナル、氣温ニ。度ヨリ二一度ヲ昇降セリ。  
 偶々快晴ノ日アルモ二五度乃至二七度ナル。  
 此、期中大雨六回、雨量多シ。  
 以上 校務日誌ニ依ル

前半期ニ於テハ降雨少ク、曇多ク終期ニ於テ降雨多シ。期中大雨  
 五回アリ、割合雨量多ク、温度ニ於テモ降雨ノ日ニ於テ一九度  
 晴レタル日ニ於テ二七度乃至三〇度ノ高温ニ急變シ濕氣多シ。





